ONKYO®

INTEC
COMPONENT WORLD

CD/MD チューナーアンプシステム

X-A5GX

FR-155GX(CD/MDチューナーアンプ)
D-02GX(スピーカーシステム)

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書、オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内とともに大切に保管してください。

目次

基 本 編

応 用 編

主な特長/付属品

本システムはCD/MDチューナーアンプ（FR-155GX）とスピーカーシステム（D-02GX）で構成されています。
カタログ及び包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは製品名の色を表す記号です。

■ 高速演算ATRAC搭載
■ CDからMDへの録音レベルを自動設定するDLA Link（リンク）（Digital（デジタル） Rec（レック） Level（レベル） Adjustment（アジャストメント））機能
■ デジタル録音ボリューム搭載
■ 長時間録音モード（2倍／4倍）MDLP対応
■ CD→MD倍速ダビング機能
■ たくさん入った曲を整理するMDグループ機能
■ サンプリングレートコンバーター搭載
■ MDネーム入力をさらに快適にする カンタンネーム機能
■ 光デジタル入出力端子装備（入力×1、出力×1）
■ 広帯域な次世代メディアのポテンシャルも引き出すWRAT（Wide（ワイド） Range（レンジ） Amplifier（アンプリファイヤー） Technology（テクノロジー））
■ 重低音の調整ができるS.BASS（スーパーバス）機能
■ 充実した外部入出力端子（CD-R、TAPE、LINE）
■ FMオートプリセット可能。30局メモリー搭載チューナー
■ 飛躍的な音質向上、デジタル信号からピュアなアナログ信号を生成するVLSC（Vector（ベクター） Linear（リニア） Shaping（シェーピング） Circuitry（サーキットリィ））搭載

付属品

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。（　）内の数字は数量をあらわしています。

●FM室内アンテナ（1）

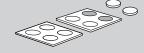
●AM室内アンテナ（1）

●リモコン－RC-527S（1）

●単3乾電池（2）

●スピーカー用コルクスペーサー（8）

●スピーカーコード 1.8m（2）

●取扱説明書（本書1）
●保証書（1）

音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。
隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

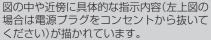
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

⚠警告

■ 故障したままの使用はしない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 絶対に裏ぶた、カバーははずさない、改造しない

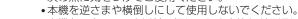
分解禁止

●本機の裏ぶた、カバーは絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店に依頼してください。
●本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 100V以外の電圧で使用しない

●本機を使用できるのは日本国内のみです。
●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧や船舶などの直流（DC）電源には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 放熱を妨げない

●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
本機には内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次の点に気をつけてご使用ください。

•本機を逆さまや横倒しにして使用しないでください。
•本機を、専用ラック以外の押し入れや本箱など風通しの悪い狭い所に押し込んで使用しないでください。
•テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、ふとんの上に置いて使用しないでください。
•本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は、少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面、横から2cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけてください。

■ 水のかかるところに置かない

水場での
使用禁止

●風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

●本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない

●本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない

●スピーカー内部、本機の通風孔、ミニディスクの挿入口やCDトレイなどから金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 中に水や異物が入ったら

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■ 電源コードを傷つけたり、加工しない

●電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがありますのでご注意ください。
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

■ 落としたり、破損した状態で使用しない

電源プラグをコンセントから抜いてください

●万一、誤って本機を落とした場合や、キャビネットを破損した場合には、そのまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら機器に触れない

接触
禁止

●雷が鳴りだしたら、本機、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

■ 乾電池を充電しない

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となります。

オーディオ機器の正しい使いかた

⚠注意

■ 設置上の注意

●強度の足りない台やぐらついたり、傾いたりした所、厚手のじゅうたんの上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
●本機の上に他のオーディオ機器を乗せたまま移動しないでください。倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。
●本機の上に10kg以上の重い物や外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり落下して、けがの原因となることがあります。

●移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
●移動させる場合は、本機の電源を切り、スピーカーコードをはずしてから行ってください。落下や転倒など思わぬ事故の原因になります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ

●スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、特にご注意ください。

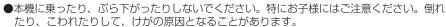
■ 次のような場所に置かない

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について

●本機を他のオーディオ機器やテレビなどの機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意

●長時間音が歪んだ状態で使わないでください。アンプ、スピーカー等が発熱し、火災の原因となることがあります。
●音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

●本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。
●レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。
●お子さまがミニディスク挿入口やCDトレイに手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
●ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
●キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。磁気の影響で製品が使えなくなったり、データが消失することがあります。

■ 電源コード、電源プラグの注意

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
●電源コードを束ねた状態で使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜いてください

●旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ 電池について

●電池をリモコンに挿入する場合、極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより火災、けがや周囲の汚損の原因となることがあります。
●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

■ スピーカーコードについて

●スピーカーコードを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 点検・工事について

電源プラグをコンセントから抜いてください

●お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

●使用環境にもよりますが、2年に1回程度の機器内部の掃除をお勧めします。もよりの販売店にご相談ください。
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除、点検費用等についても販売店にご相談ください。
●電源プラグにほこりがたまると自然発火（トラッキング現象）を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
●アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
●屋外アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となるとがあります。

●シンナー、アルコールやスプレー式殺虫剤を本機にかけないでください。塗装がはげたり変形することがあります。

●表面の汚れは、中性洗剤をうすめた液に布を浸し、固く絞って拭き取ったあと、乾いた布で拭いてください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。

リモコンを準備する

乾電池を入れる

❶

カバーを矢印の方向に持ち上げてはずす。

❷

中の極性表示にしたがって、付属の電池2個を⊕(プラス)と⊖(マイナス)を間違えないように入れる。

❸

カバーを戻す。

ご注意

- 種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混用しないでください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出しておいてください。
- 寿命がなくなった電池を入れたままにしておきますと腐食によりリモコンをいためることがあります。リモコン操作の反応が悪くなったときは、古い電池を取り出して2本とも新しい電池と交換してください。
- 使用頻度にもよりますが、付属の電池の寿命は約6ヵ月です。電池の交換時には、単3形をご使用ください。

リモコンを使うには

リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

ご注意

- リモコン受光部に日光やインバーター蛍光灯などの強い光を直接当てると正しく動作しないことがあります。
- 赤外線を使った機器の近くで使用したり、他のリモコンを併用すると誤動作の原因となります。
- リモコンの上に本など、ものを置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、リモコンが正常に機能しないことがあります。
- リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると操作できません。

各部の名称と主な働き

前面パネル

INPUTS◀/▶ボタン
聞くソースを選びます。

REC MODEボタン
録音モード（MDLP）を切り換えます。

GROUPボタン
グループを選択するときに使用します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

STANDBYインジケーター
スタンバイ時に点灯します。

TONE/S. BASSボタン
音質、重低音を切り換えます。

CDトレイ
CDをセットします。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。文字入力時、文字の種類を選べます。

PHONES端子
ヘッドホンのミニプラグを接続します。ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音は聞こえなくなります。

CD DUBBINGボタン
CD DUBBINGを開始するときに押します。

MD ●RECボタン
MDを録音待機状態にします。

◀◀/▶▶ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。
文字入力時、カーソル移動にも使用します。
放送受信時は、周波数の選択にも使用します。

TIMERボタン
タイマー機能を使用するときに押します。

MD挿入口
MDを挿入します。

リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。

MD▲ボタン
MDを取り出すときに押します。

MD▶/❚❚ボタン
再生や録音を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。もう一度押すと再生状態に戻ります。

MD■ボタン
再生、録音を停止します。

VOLUME SYNCHROインジケーター
電源が入るとオレンジ色に点灯します。UXW-3.1（別売）接続時は、緑色に点灯します。

音量調節つまみ
音量を調節します。

CD▲ボタン
CDを取り出すときに押します。

CD▶/❚❚ボタン
再生を始めます。再生中に押すと一時停止状態になります。
もう一度押すと再生状態に戻ります。

CD■ボタン
再生を停止します。

MODE/YESボタン
録音、再生などの各設定や各編集で表示どうりに決定するときに押します。

EDIT/CLEAR/NOボタン
録音、再生などの各設定や各編集操作の内容を選びます。設定中は表示された内容を取り消すときに押します。

MULTI JOGダイヤル
プリセットチャンネルや再生する曲を選びます。編集の種類を選んだり、文字を入力するときに文字を選びます。
押すと各設定を確定します。

ヘッドホンで聞くときは
ヘッドホンのステレオミニプラグを接続します。
接続するときは音量を下げてください。
スピーカーの音声は消えます。

各部の名称と主な働き

表示部

リモコン（RC-527S）

SLEEPボタン
お好みの時刻に電源を切るスリープタイマーの設定に使用します。

STANDBY/ONボタン
電源のスタンバイ/オンを切り換えます。

文字、記号、アルファベット、数字ボタン
ディスク名や曲名など文字入力時に使用します。
また選曲したり、メモリー再生時に曲順を指定するときにも使用します。

|◀◀/▶▶|ボタン
前後の曲を選ぶことができます。
押すたびに前または後に曲番がスキップします。
プリセット選局にも使用します。

◀◀/▶▶ボタン
再生中の曲を早送りしたり、早戻しすることができます。文字入力時、カーソル移動時および周波数の選択にも使用します。

CD操作ボタン
❚❚：再生の一時停止をします。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

MD操作ボタン
❚❚：再生・録音を一時停止します。
■：再生・録音を停止します。
▶：再生・録音(録音一時停止から)を始めます。

別売のオンキヨー製CDR操作ボタン
❚❚：再生・録音を一時停止します。
■：再生・録音を停止します。
▶：再生・録音(録音一時停止から)を始めます。

別売のオンキヨー製DVD操作ボタン
❚❚：再生の一時停止をします。
■：再生を停止します。
▶：再生を始めます。

別売のオンキヨー製カセットテープデッキ操作ボタン
◀：B(裏)面を再生します。
■：再生・録音や早送り、巻戻しを停止します。
▶：A(表)面を再生します。

STANDBY/ON　SLEEP　INPUT
ア 1　カABC 2　サDEF 3　NAME
タGHI 4　ナJKL 5　ハMNO 6　DISPLAY
マPQRS 7　ヤTUV 8　ラWXYZ 9　SCROLL
゛゜記号 --/---　ワヲン― 10/0　GROUP　ENTER
MODE　CLEAR
REPEAT　CLOCK
CD　SURROUND
MD　S.BASS
CDR　MUTING
DVD　VOLUME
TAPE
ONKYO
RC-527S

INPUT ◀/▶ボタン
入力が押すごとに切り換わります。

NAMEボタン
文字入力をするときに使用します。

DISPLAYボタン
押すたびに表示部の情報が切り換わります。
文字入力時、文字の種類を選べます。

SCROLLボタン
表示部に表示された文字を移動表示します。
文字入力時、文字の種類を選べます。

ENTERボタン
文字を入力するときに押します。

GROUPボタン
グループを選択します。

CLEARボタン
メモリーを取り消すときに押します。
文字を削除するときにも使用します。

MODEボタン
FM放送の受信モードを切り換えます。
CDやMDの再生モードを切り換えます。

CLOCKボタン
時刻を表示させるときに押します。

REPEATボタン
MDやCDをリピート再生します。

SURROUNDボタン
UXW-3.1と組み合わせるとき、サラウンドモードを切り換えます。

S.BASSボタン
重低音を強調します。

MUTINGボタン
音量を一時的に小さくするときに押します。

VOLUME ▲/▼ボタン
音量を調節します。

X-A5GX(08-12)(SN29343602)　10　03.10.17, 10:17 AM

後面パネル

FM ANTENNA（75Ω）端子
付属のFM室内アンテナまたは、
FM屋外アンテナを接続する端子です。

LINE端子
テレビやイコライザー内蔵のレコード
プレーヤーなどの外部機器の音声出力
を接続する端子です。

TAPE端子
テープデッキを接続する
端子です。

CDR端子
CDレコーダーを接続する
端子です。

PROCESSOR端子
（UXW-3.1専用）
別売のオンキョー製デジタル
シアターシステムUXW-3.1
を接続する端子です。

RI端子
RI端子付きのオンキヨー製カセットデッキ
などと接続し、連動させるための端子です。
RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
オーディオ用ピンコードも正しく接続してください。

AM ANTENNA端子
付属のAM室内アンテナまたは、
AM屋外アンテナを接続する端子です。

SUBWOOFER PRE OUT端子
アンプ内蔵のサブウーファーを接続する端子です。

電源コード

SPEAKERS端子
スピーカーを接続する端子です。

DIGITAL IN (OPTICAL)
端子
光デジタル入力端子です。
デジタル出力端子付きのゲーム
機やBSチューナーと接続する
ときに、市販のオーディオ用
光デジタルケーブルを使って
接続します。

DIGITAL OUT (OPTICAL) 端子
光デジタル出力端子です。
デジタル入力端子付きのCDレコーダーなどと接続するときに、
市販のオーディオ用光デジタルケーブルを使って接続します。

各部の名称と主な働き

スピーカー（D-02GX）

サランネットの脱着について

このスピーカーは前面のサランネットを取りはずすことができます。サランネットを付けたりはずしたりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側をはずします。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体からはずれます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるホルダーを本体のサランネット取り付けピンに合わせて押し込みます。

付属のコルクスペーサーについて

スピーカー（D-02GX）用コルクスペーサーをより良い音でお楽しみいただくために、ご使用することをおすすめいたします。
また、コルクスペーサーを使用することで、すべりにくく安定してスピーカーを設置することができます。

ご注意

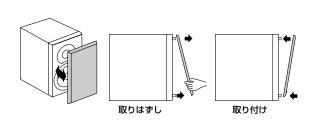
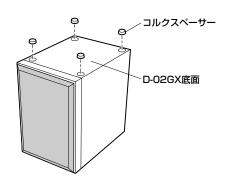
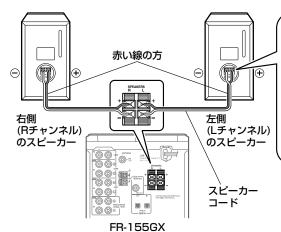
コルクスペーサーは、接着力が強いため一旦貼り付けますと、はがれなくなりますのでご注意ください。

接続する

スピーカーを接続する

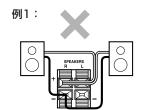
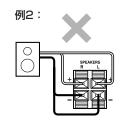
1.ビニールカバーをはずしスピーカーコードの芯線部をよじります。

2.スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を差し込みます。
指を離すとレバーが戻ります。
芯線がわずかに外に出ているようにしてください。

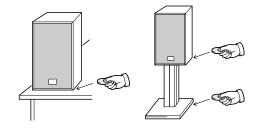
3.スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。

- 回路の故障を防ぐため、スピーカーコードのしん線を絶対に接触させないでください。
- 右側に設置するスピーカーは、本機のスピーカー端子のRに、左側に設置するスピーカーはLに接続してください。

- スピーカーはインピーダンスが4Ω～16Ωのものを接続してください。
- スピーカーの(+)と本体の(+)を、スピーカーの(−)と本体の(−)を接続します。付属のスピーカーコードの赤い線の方を(+)側に接続してください。
- 片チャンネルのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続（例1）したり、1つのスピーカーから両チャンネルのスピーカー端子に並列して接続（例2）しないでください。故障の原因になります。

例1：

例2：

スピーカーの設置について

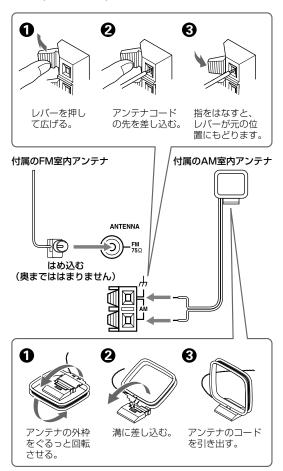
スピーカーの音質は、設置する部屋の構造、広さ、家具の配置や大きさなどによって大きく変化します。より良い音を楽しんでいただくために、次のことにご注意ください。

- スピーカーを床に直接置くと、低音が出過ぎていわゆるブーミーな音になります。スピーカースタンドまたはブロック、レンガ、堅い棚等の上に置くようにしてください。
- スピーカースタンドと床との間、またはスピーカーとスピーカースタンドとの間にガタツキがあると、質の良い低音が得られませんので、コルク円板またはコインのような金属板を使ってガタツキがなくなるようにしてください。

- 低音が足りないときは、スピーカースタンドを低くして堅い壁面の前に置くと、低音を豊かにすることができます。
- 部屋の中では家具や壁の影響で音質が変わります。できる限り左右の音響条件が揃うことが、良い結果になります。
- お聞きになる位置（リスニングポジション）が左右のスピーカーを底辺とした正三角形の頂点、または頂点より少しうしろになるように設置するのが理想的です。
- スピーカーの正面にガラス戸や堅い壁があると、音が反射し、ある周波数だけ共振することがあります。このようなときは、厚手のカーテン等をかけて吸音処理をすることをおすすめします。

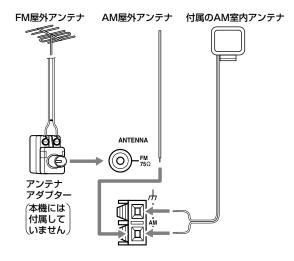
ご注意

- スピーカーのキャビネットは木工製品ですので、温度や湿度の極端に高いところや低いところは好ましくありません。直射日光のあたるところや冷暖房器具の近く、湿気の多い場所には設置しないでください。
- しっかりした水平な場所に設置してください。

付属のFM/AM室内アンテナを接続する

アンテナ位置の調整と固定は実際に放送を聞きながら行います。（☞32ページ）

！ヒント

AM室内アンテナのコードは、分岐した先端を左右端子のどちらに接続してもかまいません。（スピーカーコードのように、極性などによる区別は有りません。）

FM/AM屋外アンテナを接続する

FM屋外アンテナについて

市販のアンテナアダプターを使用して、上図のように接続します。

！ヒント

- 建物の陰にならず、FM放送電波が直接受信できる所に設置してください。
- 自動車のエンジンによる雑音を避けるため、道路からできるだけ離れたところに設置してください。

⚠送電線の近くは危険ですので絶対に設置しないでください。

- アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください。

AM屋外アンテナについて

鉄筋住宅などで付属のAM室内アンテナだけでは受信状態が悪いときは、5m以上のビニール被覆線を窓ぎわや屋外にはってください。

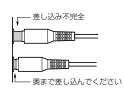
AM屋外アンテナを接続するときも、必ず付属のAM室内アンテナを接続しておいてください。

接続の前に

- イラストはオンキヨー製品ですが、他の機器でも接続方法は同じです。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 電源コードは全ての接続が終わるまでつながないでください。

オーディオ用ピンコードは以下のように接続してください。

- 赤いプラグ（Rの表示）を右チャンネル、白いプラグ（Lの表示）を左チャンネルに接続してください。

- コードのプラグはしっかりと奥まで差し込んでください。接続が不完全ですと、雑音や動作不良の原因になります。

- オーディオ用ピンコードは電源コードやスピーカーコードと束ねないでください。音質や画質が悪くなることがあります。

光デジタル入力端子/出力端子について

本機の光デジタル端子には、保護キャップが取り付けられています。接続のときは、このキャップを取り外してください。端子を使用しないときは、キャップを元どおりに取り付けてください。

設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。
通風孔がふさがれて危険です。

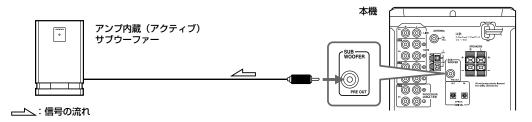
音声ケーブルと端子の種類について

音声ケーブルと端子の種類			
ケーブルの名称	ケーブルの形	端子の形	ケーブルや端子の役割
光デジタルケーブル（OPTICAL（オプティカル））		OPTICAL	ドルビーデジタルなどのデジタル信号を伝送します。
オーディオ用ピンコード		AUDIO L R	アナログ音声を伝送します。

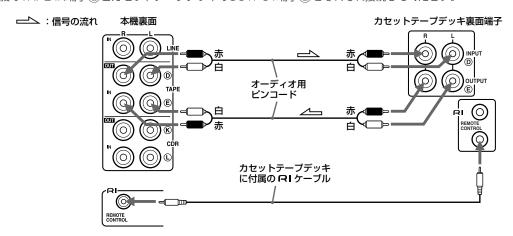
外部機器を接続する

すべての接続が終わってから電源を入れてください。
⊘ 設置の際は、本機の上部に他の機器をのせないでください。通風孔がふさがれて危険です。

サブウーファーを接続する

本機のサブウーファー出力はプリアウトですので、サブウーファーはアンプ内蔵のもの（アクティブサブウーファー）を接続してください。

カセットテープデッキを接続する

■オンキヨー製カセットテープデッキとの接続

本機のTAPE OUT（テープ アウト）端子Ⓓとカセットテープデッキの INPUT（インプット）端子Ⓓを接続してください。
本機のTAPE IN（テープ イン）端子Ⓔとカセットテープデッキの OUTPUT（アウトプット）端子Ⓔをそれぞれ接続してください。

■その他のカセットテープデッキと接続する場合

本機のTAPE OUT端子Ⓓとカセットテープデッキの音声入力端子、本機のTAPE IN端子Ⓔとカセットテープデッキの音声出力端子を接続してください。

ご注意

- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

不完全な接続
完全に差し込む

RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製カセットテープデッキも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製カセットテープデッキの再生をすると、本機の入力が自動的にTAPEに切り換わります。
- システム録音操作ができます。（☞41ページ）
- 外部入力の表示名称を「TAPE（テープ）」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「TAPE」ですので、そのままお使いください。）

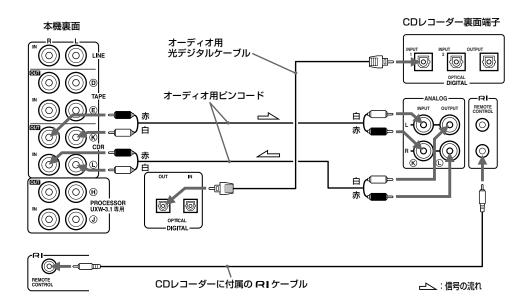
X-A5GX(13-20)(SN29343602) 16 03.10.17, 10:18 AM

CDレコーダーを接続する

■オンキヨー製CDレコーダーとの接続

本機のCDR OUT端子Ⓚとしレコーダーのの接続は以下のとおりです。

本機のCDR IN端子ⓁとCDレコーダーのOUTPUT（PLAY）端子Ⓛを接続してください。

CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのDIGITAL INPUT1端子を接続します。

■その他のCDレコーダーと接続する場合

本機のCDR OUT端子ⓀとCDレコーダーの音声入力端子、本機のCDR IN端子ⓁとCDレコーダーの音声出力端子をそれぞれ接続してください。CDレコーダーにデジタル録音するには、オーディオ用光デジタルケーブルを使って、本機のDIGITAL OUT端子とCDレコーダーのデジタル入力端子を接続します。

ご注意

- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

不完全な接続

完全に差し込む

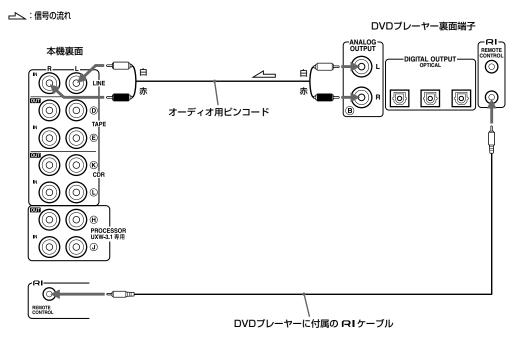
RI端子接続をすると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製CDレコーダーも操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製CDレコーダーの再生をすると、本機の入力が自動的にCD-Rに切り換わります。
- 本機にCDレコーダーとカセットテープデッキを接続する場合は、両機器間のRI端子も接続してください。
- 外部入力の表示名称を「CD-R」にする必要があります。（お買い上げ時の設定は「CD-R」ですので、そのままお使いください。）

接続する

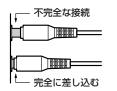
DVDプレーヤーを接続する

■オンキヨー製DVDプレーヤーとの接続

本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのANALOG OUTPUT端子Ⓑを接続してください。

■その他のDVDプレーヤーと接続する場合

本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのアナログ音声出力端子を接続してください。

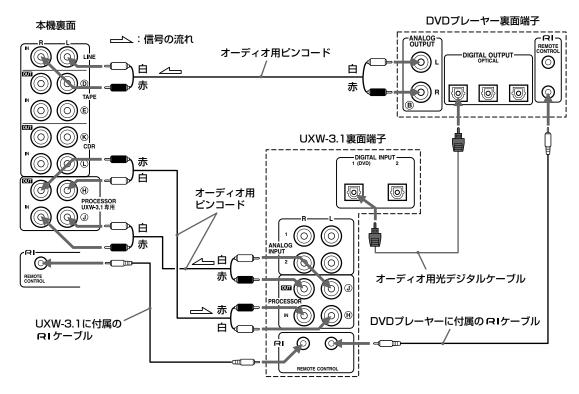
ご注意

- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入るときは本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

RI端子を接続すると、以下の機能が使えます。

- 本機付属のリモコンでオンキヨー製DVDプレーヤーを操作できます。（オーディオ用ピンコードも接続してください。）
- オンキヨー製DVDプレーヤーを再生すると、本機の入力が自動的にDVDに切り換わります。
- オーディオ用ピンコードとRIケーブルを接続した場合は、外部入力の表示名称を「DVD」にする必要があります。（☞70ページ）お買い上げ時は「LINE」に設定されています。

本機は2つのスピーカーから出力するステレオ再生機器ですが、別売のUXW-3.1を使用すると5.1ch再生をお楽しみいただけます。

オンキヨー製デジタルシアターシステム(UXW-3.1)とDVDプレーヤーを接続する

本機のPROCESSOR OUT端子Ⓗ とUXW-3.1のPROCESSOR IN端子Ⓗ を接続してください。
本機のPROCESSOR IN端子Ⓙ とUXW-3.1のPROCESSOR OUT端子Ⓙ を接続してください。
DVDプレーヤーのデジタル音声出力端子を、UXW-3.1のDIGITAL INPUT1（DVD）端子に接続し、UXW-3.1の入力名称を「DVD/dig」に設定してください。（入力名称の設定のしかたは、UXW-3.1の取扱説明書をご覧ください。）

オンキヨー製品とRI連動させる場合

RI端子をRIケーブルで接続してください。RI端子が2つある場合、2つの端子の働きは同じです。どちらに接続してもかまいません。
本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのアナログ音声出力端子を接続し、本機の外部入力の表示名称を「LINE」から「DVD」に変更してください。

ご注意

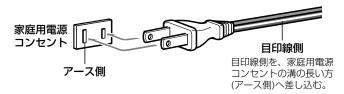
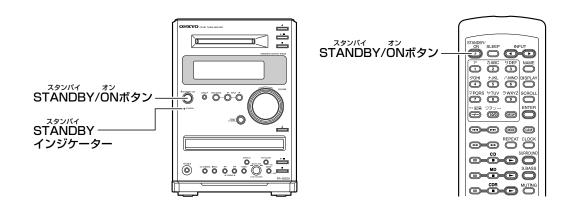
- DVDプレーヤーから本機にアナログ録音する場合は、本機のLINE IN端子とDVDプレーヤーのアナログ音声出力端子を接続し、本機の外部入力の表示名称を「LINE」から「DVD」に変更してください。
- オーディオ用ピンコードは奥までしっかり差し込んでください。差し込みが不完全だと音が出ません。
- コード類はスピーカーコードと一緒に束ねないでください。音質が悪くなることがあります。
- テレビの画像が乱れたり、本機の出力音声に雑音が入ったりするときは、本機をテレビからできるだけ離して設置してください。

接続する

電源コードを接続する

すべての接続が完了していることを確認してください。
電源コードを接続すると、本機はスタンバイ状態となり、STANDBY(スタンバイ)インジケーターが点灯します。

よりよい音で聞いていただくために
本機の電源コードは極性の管理がされています。電源コードの片側に目印線の入っている側を家庭用電源コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。家庭用電源コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続してもかまいません。

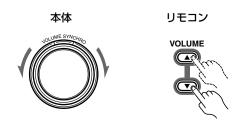
例：

電源を入れる

本体またはリモコンのSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを押す

電源を切るときは、同じボタンをもう一度押します。

！ヒント

本機にRIケーブルおよびオーディオ用ピンコードで接続されているオンキヨー製CDレコーダーまたはカセットテープデッキの電源を入れたり、再生を始めると、本機の電源が自動的に入ります。また、本機の電源を入/切しますと、接続されているこれらの機器の電源が入ったり、スタンバイ状態になります。

基本の操作を理解する

音量を調節する

本体のMASTER VOLUMEつまみを回すか、リモコンのVOLUME▲/▼ボタンを押す

音量は基本的にMin·1·2····40·41·Maxまでの範囲で調整できます。

入力を切り換える

本体またはリモコンのINPUT◀/▶ボタンを押して切り換える

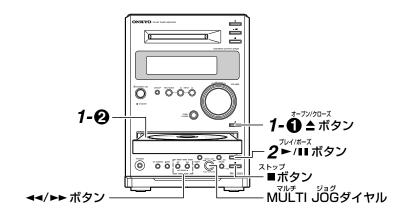
本機の入力にはCD、MD、FM放送、AM放送、接続した各外部機器(CD-R、TAPE、LINE、DIGITAL)があります。
ボタンを押すごとに、入力が以下のように切り換わります。

音量を一時的に小さくする－ミューティング(リモコンのみの機能です)

MUTINGボタンを押すとMUTING表示が点滅し、音量がごく小さくなります。
もう一度押すと、解除されます。

以下のときも解除されます。

●音量を変えたとき
●一度電源を切ってから再度電源を入れたとき

CDを聞く

1 （CD側）	**CDをセットする** ❶CDの▲ボタン押して、トレイを開く ❷CDをトレイに置く レーベル面を上にしてトレイの上に置きます。 シングルCDのときは、内側のくぼみの中に置きます。

！ヒント

スタンバイ状態のときにCDの▲ボタンを押すと、自動的に電源が入ります。

2 （CD側）

CDの►/❚❚ボタンを押す

トレイが閉まって再生が始まります。

再生を止める

CDの■ボタンを押します。

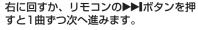
一時停止する

CDの►/❚❚ボタンを押します。
表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

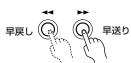
CDを取り出す

CDの▲ボタンを押してトレイを開けます。

聞きたい曲を選ぶ

- 再生中/停止中にMULTI JOGダイヤルを左に回すか、リモコンの❙◄◄ボタンを押すと曲の頭に戻り、さらに回すか、リモコンの❙◄◄ボタンを押すと1曲ずつ前に戻ります。
  右に回すか、リモコンの►►❙ボタンを押すと1曲ずつ次へ進みます。

- 停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

リモコンで操作する

CDを選ぶ

数字ボタン

選曲して再生する

--/--- は入力する位の指定、10/0は10もしくは0を表します。

例）

曲番	押すボタン
8	8
10	10/0
34	--/---、3、4

11曲目以降を再生するときは、--/--- を押してから選曲します。

聞きたい曲を選ぶ

※ 再生中、一時停止中に⏮ボタンを1回押すと聞いている曲の頭に戻り、2回押すと、前の曲に戻ります。以降、押すたびに1つ前の曲になります。

※ ⏭ボタンを押すと、押すたびに1つ次の曲になります。

早戻し/早送りをする

再生中/一時停止中に押し続け、聞きたいところで指を離します。

再生する

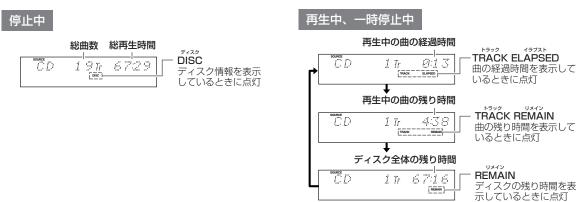
スタンバイ状態でCDがセットされていれば、自動的に電源が入り、再生が始まります。

再生を止める

音量を調節する

VOLUME ▲ボタンを押すと音が大きく、VOLUME ▼ボタンを押すと小さくなります。

再生を一時停止する

一時停止したところから再生を始めるには、同じ❚❚ボタンまたは、CDの▶ボタンを押します。

MDを聞く

1

MDをセットする

再生専用か、録音済みのMDを選んでください。
ラベル面を上に、矢印を本体の挿入口に向けて差し込みます。
軽く押すと自動的に引き込まれます。

！ヒント

スタンバイ時の時計表示をあり（☞62ページ）にしている場合は、スタンバイ時にMDを挿入すると自動的に電源が入ります。
スタンバイ時の時計表示を「なし」（☞62ページ）にしている場合は、電源を入れてからMDを挿入してください。

2 （MD側）

MDの▶/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

再生中の曲番　経過時間

再生を止める

MDの■ボタンを押します。

一時停止する

MDの▶/❚❚ボタンを押します。
表示部に❚❚表示が点灯します。もう一度押すと一時停止したところから再生が始まります。

MDを取り出す

MDの▲ボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

●再生中/停止中にMULTI JOGダイヤルを左に回すと曲の頭に戻り、さらに回すと1曲ずつ前に戻ります。
停止中は左に回すと前の曲を選択します。
右に回すと1曲ずつ次へ進みます。

●停止中はMULTI JOGダイヤルを押すと、再生が始まります。再生中にMULTI JOGダイヤルを押すと、1曲ずつ次の曲にとび、その曲の再生を始めます。

早戻し/早送りをする

再生中、一時停止中に押しつづけ、聞きたいところで指をはなします。

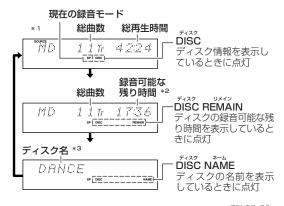
！ヒント

一時停止中の早戻し/早送りは音が出ません。表示部の経過時間で確認してください。

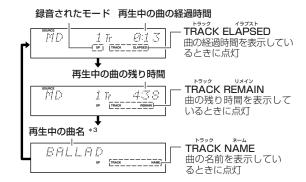
X-A5GX(21-28)(SN29343602)　24　03.10.17, 10:19 AM

表示部の情報を切り換える

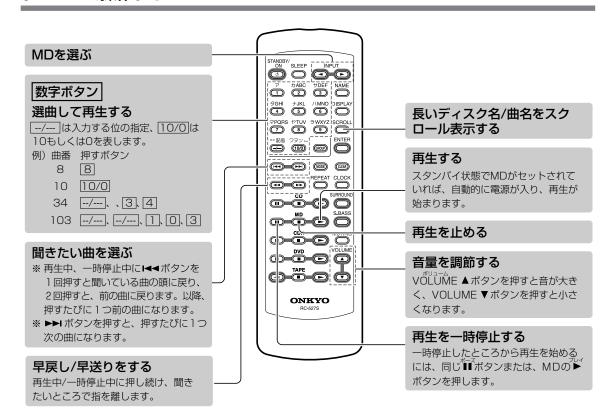
本体またはリモコンのDISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

停止中

＊1 なにも録音されていないMDのときは、「MD BlankDisc（ブランクディスク）」が表示されます。
＊2 再生専用ディスクのときは表示しません。
＊3 ディスクや曲に名前がついていないときは総曲数または曲番のみが表示されます。

☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（59ページ）

再生中、一時停止中

ディスク名、曲名が長いときは

リモコンのSCROLL（スクロール）ボタンを押すと、全部の文字を順番に表示させることができます。

リモコンで操作する

CD/MDのいろいろな再生

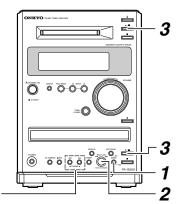
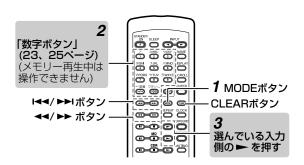
基本の再生以外に、いろいろな再生とリピート機能による様々な再生をお楽しみいただけます。
CDダビング機能と組み合せて使用することができます。

MEMORY再生

●曲を指定し（CD、MDそれぞれ25曲まで）、その順序で再生します。
●CDダビング機能と組み合せてお好みのMDを簡単に作成できます。（CD倍速ダビングはできません。）

リモコンで操作する

入力がCD/MDで停止中

1

MODE/YESボタンを（くり返し）押して、「MEMORY」を表示する

「MEMORY」が点灯

2

MULTI JOGダイヤルを回して曲を選び、ダイヤルを押して確定する

次の曲を選ぶときは本手順をくり返します。

予約曲番　予約曲の合計再生時間

間違って予約した曲を取り消すには

EDIT/**CLEAR**/NOボタンを（くり返し）押すと、新しく入力したものから取り消されていきます。

！ヒント

予約時間の合計が以下の時間を越えると合計時間表示が不可能になりますが、MEMORY再生に支障はありません。
CD：99分59秒を超えると「--:--」となります。
MD：511分59秒以上になると「---:--」となります。
CD、MDそれぞれ26曲以上は予約できません。「Memory Full」と表示されます。

3

CDまたはMDの▶/‖ボタンを押す

MEMORY再生が始まります。
再生が終わっても予約内容は消えません。

再生中の曲番

予約した曲のなかで選曲する

再生中にMULTI JOGダイヤルを回すか、リモコンのI◀◀/▶▶Iボタンを押すと、予約した曲の中から選曲ができます。

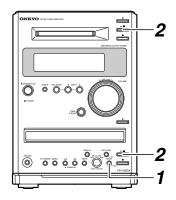
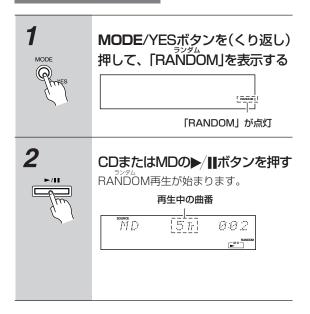
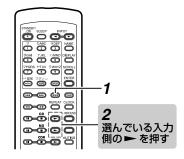
予約した内容を確認するには

停止中に◀◀/▶▶ボタンを押して予約内容を確認できます。

予約した曲を取り消すには

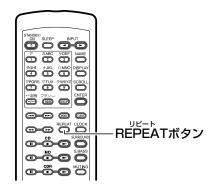
●MEMORY再生モードの停止中に、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを（くり返し）押すと、最後の予約曲から取り消すことができます。
●一度再生モードを切り換えると、記憶した内容は消えます。
●ディスクを取り出すと、記憶した内容は消えます。

RANDOM再生

●曲順をランダムに並べかえて、全曲を1通り再生します。

入力がCD/MDで停止中

リモコンで操作する

REPEAT/1 TR REPEAT/CHAIN REPEAT再生

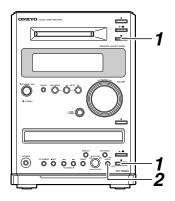
●REPEAT再生はCD、MDのどちらかをくり返し再生します。
CHAIN REPEAT再生はCD、MDを交互にくり返して再生します。

●1 TR REPEAT再生は、CD、MDのどちらか1曲をくり返し再生します。

●1GR再生(☞48ページ)、MEMORY再生、RANDOM再生、通常再生と組み合わせて使うことができます。
「CHAIN REPEAT」のときは、CD、MD別々にそれぞれの再生モードと組み合わせられます。

REPEATボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」、「REPEAT 1 TR」または「CHAIN REPEAT」を点灯させる

「REPEAT」、「REPEAT 1 TR」または「CHAIN REPEAT」が点灯

REPEAT/REPEAT 1TR/CHAIN REPEAT再生モードになります。

通常再生にもどす

MEMORY、RANDOM再生を取り消す

CD/MDが停止中

1

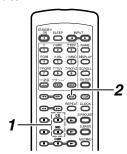
CDまたはMDの■ボタンを押して再生を止める

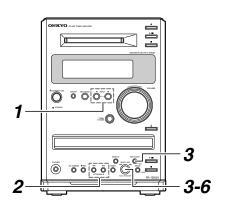
2

MODE/YESボタンを(くり返し)押して、「MEMORY」、「RANDOM」のいずれも表示されていない状態にする

REPEAT、REPEAT 1 TR、CHAIN REPEAT再生を取り消す

REPEATボタンを(くり返し)押して、「REPEAT」、「REPEAT 1TR」、「CHAIN REPEAT」のいずれも表示されていない状態にする

リモコンで操作する

FM、AM局を1局ずつ登録する－プリセットライト

AM局は周波数を手動で合わせて、1局ずつプリセットチャンネルに登録します。
（FM局もオートプリセットの他に、この方法で登録することもできます。）

予備知識

- プリセットは、FM、AM合わせて30チャンネルまで登録できます。例えば、FMで8チャンネル使っている場合はAMで22チャンネルまで登録できます。
- FM、AMは独立して表示されますので、FMとAMに同じチャンネル番号があってもかまいません。
- プリセットライトの場合は、任意のチャンネル番号に登録することが可能です。例えばAMチャンネル2、5、9のようにすることができます。

操作の前に
電源を入れてください。

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、「AM」を表示する

SOURCE AM

FM局を登録するときは「FM」を表示します。

2

または

TUNING◀/▶ボタンを押して、受信したい放送局の周波数を表示する

SOURCE AM 810kHz

ボタンを押し続けると連続して周波数が変わります。

3

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Preset Write?」を表示する

Preset Write?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

SOURCE AM 810kHz 1

登録するチャンネルが表示されます。
中断するときはEDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

5

別のチャンネルに登録するときは、MULTI JOGダイヤルを回す

SOURCE AM 810kHz 4

6

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

●「Complete」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局がプリセットチャンネルに登録されました。

➥次ページへ続く

MODE
YES
EDIT/CLEAR
NO

●「Overwrite?」(書き換えますか?)と表示されたときは

Overwrite? 4CH

選んだチャンネル番号は登録済みです。

○すでに登録されている放送局を消して新しい放送局を登録するときは、MODE/YESボタンを押します。

○登録をやめるときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

●「Memory Full」と表示されたときは

Memory Full

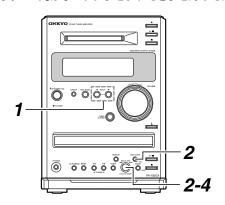
FM、AM合わせてすでに30チャンネル登録されています。不要なチャンネルを削除してから（☞57ページ）、再度登録してください。

7 **次を登録するときは、手順*2*～*6*をくり返す**

プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞59ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞57ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞58ページ

FM局を自動で登録する−オートプリセット

登録すれば放送局を周波数で合わせせなくてもチャンネル選局ができます。受信から登録まで、一括して自動（オート）で行えます。AM局はオートプリセットできませんので、29ページをご覧ください。

予備知識

- FMの受信周波数は76.00〜108.00MHzですが、オートプリセットは76.00〜90.00MHzの間で行います。
- 既にFM局を登録してある場合、オートプリセットを行うと前の登録はすべて消え、新たに登録されます。

操作の前に
電源を入れてください。
FMの受信状態が良好になるようにFMアンテナの位置を調整してください。（☞32ページ）

ご注意

お使いの場所によっては、放送局でないもの（ノイズ）がプリセットされることがあります。このようなプリセットチャンネルは削除してください。（☞57ページ）

1 INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、「FM」を表示する

INPUT

2 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「AutoPreset?」を表示する

EDIT/CLEAR
NO
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

AutoPreset?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

MULTI JOG

AutoPreset??

再確認のため、「AutoPreset??」が表示されます。

中断するときはEDIT/CLEAR/NOボタンを押してください。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

MULTI JOG

FM 76.20MHz 1 CH

オートプリセットが始まります。

周波数の低い順から自動的に最大20局まで登録していきます。

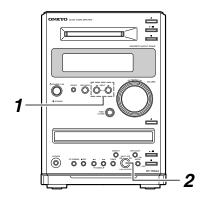
プリセットしたあとにこんなこともできます

- 登録したチャンネルに放送局名など名前をつける。 ☞59ページ
- 登録したチャンネルを選んで削除する。 ☞57ページ
- 登録した放送局を別のチャンネルにコピーする。 ☞58ページ

FM/AM放送を聞く

あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。
(☞29〜31ページ)

操作の前に
電源を入れてください。

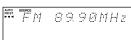
1

入力をFMまたはAMにする

INPUT（インプット）◀/▶ボタンを押して、FMまたはAMを選びます。

2

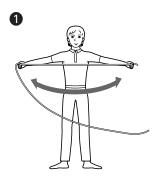
MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回してプリセットチャンネルを選ぶ

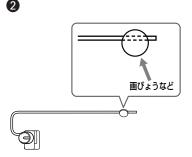
左に回すと前のチャンネルを、右に回すと次のチャンネルを選べます。

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

アンテナの調整をする

FM室内アンテナを調整して固定する

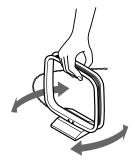
FM放送を聞きながらFMアンテナの調整をします。

❶

アンテナの方向を変えて受信状態が良好になるように設置場所をみつける。

❷

画びょうなどでアンテナの先を軽くはさんで止める。

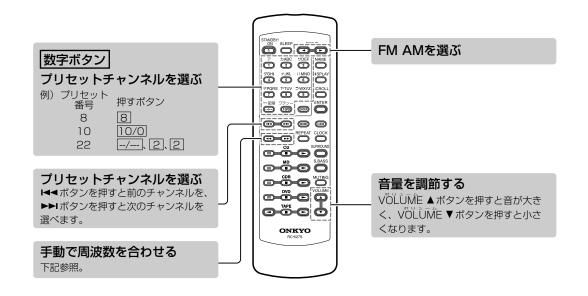
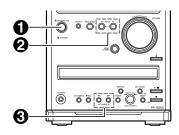
画びょうでを使うときは、指先などにけがをしないように注意してください。

AM室内アンテナを調整する

AM放送を聞きながら受信状態が良好になる位置に置き直したり、左右に回して調整します。

表示部の情報を切り換える

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを（くり返し）押すと、情報の切り換えができます。

＊ プリセットチャンネルに名前がついていないときは、「No Name」が表示され、周波数表示に戻ります。
☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（59ページ）

リモコンで操作する

手動で周波数を合わせるときは

❶電源を入れる

❷入力をFMかAMにする

❸TUNING◀/▶ボタンを押して、表示部をみながら周波数を合わせる

一回押すごとに周波数がFMでは50kHz、AMでは9kHzずつ変わります。1秒以上押すと周波数が連続して変化します。FMの場合は◀または▶ボタンをしばらく押してから手を離すと自動的に周波数が上がり（下がり）、放送局があると自動で停止します。

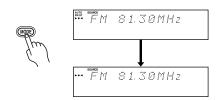
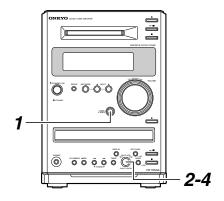
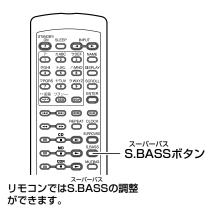
FM放送を受信しにくいときは

電波の弱い所や雑音の多い所ではリモコンのMODEボタンを押し、AUTOの表示を消してモノラル受信にしてください。
雑音や音切れを軽減できます。
AUTOにもどすときは、同じボタンを再度押します。

音質を調整する

リモコンではS.BASS(スーパーバス)の調整ができます。

音質を調整する

1

TONE(トーン)/S.BASS(スーパーバス)ボタンを押し、「Bass(バス) ±0」(低音域調整)を表示させ、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して11段階の低音を調整する

```
Bass    +2
```

−10、−8、±0、‥‥+8、+10の間で2ステップごとに調整できます。

2

MULTI JOGダイヤルを押し、「Treble(トレブル) ±0」(高音域調整)を表示させ、MULTI JOGダイヤルを回して11段階の高音を調整する

```
Treble   +2
```

−10、−8、±0、‥‥+8、+10の間で2ステップごとに調整できます。

3

MULTI JOGダイヤルを押し、S.BASS(重低音域調整)を表示させ、MULTI JOGダイヤルを回して「Off(オフ)」、「1」または「2」を選ぶ

```
S.Bass   2
```

数字が大きくなるほど重低音効果が得られます。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

通常表示に戻ります。

！ヒント

目的の音質調整が終わった後、EDIT(エディット)/CLEAR(クリア)/NO(ノー)ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

録音方法の種類

- **●CDダビング** …… **CD DUBBING（ダビング）ボタンを使って本機CDからMDに録音する**
  - デジタル入力録音…自動でデジタル入力録音します。
  - MDに曲番は自動でつきます。
  - DLAリンク…自動で最適な録音レベルに調整します。
- **●シンクロ録音** …… **オンキヨー製外部機器からMDに録音する**
  - レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
  - 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。
- **●シグナル シンクロ録音** ……… **その他の外部機器からMDに録音する**
  - レベルシンク…（入力レベルの立ちあがりで自動的に曲番をつける機能）のオン/オフが可能です。
  - 録音レベル…録音レベルはお好みに調整できます。

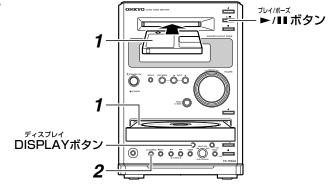
こんな録音はどうするの？		この機能を使うと便利です	
アルバムCDをMDにそのまま録音したい	➡	CDダビング （倍速ダビングもできます）	36ページ 37ページ
今聞いている曲だけを録音したい	➡	トラック指定CDダビング	38ページ
CDの中から好きな曲だけを録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	38ページ
たくさんのシングルCDをMDに録音したい	➡	好きな曲だけをダビングする メモリー再生機能と組み合わせて録音します	38ページ
短時間で録音をすませたい	➡	CD倍速ダビング	37ページ
グループを作りながら録音をしたい	➡	MDグループダビング	39ページ
FM/AM放送を録音したい	➡	FM/AM放送をMDに録音する	40ページ
オンキヨー製カセツトテープデッキやCDレコーダーからMDに録音したい	➡	シンクロ録音	41ページ
その他の外部機器からMDに録音したい	➡	シグナルシンクロ録音	42ページ
MDLPを使ってたくさんの曲を1枚のMDに入れたい	➡	録音モードを切り換える	43ページ
録音レベルを調整したい	➡	録音レベルを調整する	44ページ
レベルシンクを切り換えたい	➡	レベルシンクを切り換える	45ページ
MDの最後をフェードアウトさせたい	➡	フェードアウトダビング	39ページ
CDからMDにアナログで録音したい	➡	アナログ入力録音に設定し、 シンクロ録音をする	44ページ 41ページ

CDをMDに録音する（CDダビング）

● DLA LINKが働くワンタッチデジタル録音です。
● 曲番は自動でつきます。

ご注意

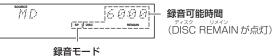
CDがRANDOM再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

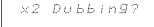
1

DISPLAY

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

2

CD DUBBING

CD DUBBINGボタンを押す

"X2 Dubbing?"が3秒表示されます。

"CD-MD Dubbing"がスクロールします。

CDはピークサーチ（最大レベルの検出）を高速で行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（DLA LINK）
ピークサーチ中は、表示部に「Srch」が点滅します。
その後、録音を開始します。

● CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると、録音が止まります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

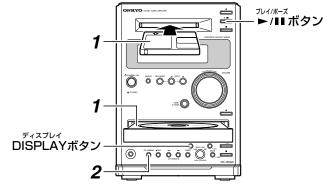
！ヒント

DLA LINKは最長で100秒かかることがあります。

CD ダビング中のご注意

▶/❚❚、▲などのボタンは働きません。

CDをMDに録音する（CD倍速ダビング）

● DLA LINKが働くデジタル録音を通常の約半分の時間で行います。
● 曲番は自動でつきます。

1

CDとMDをセットする

MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAYボタンを（くり返し）押してください。

ご注意

● CDがREPEAT再生、MEMORY再生、RANDOM再生モードになっているときは、CD倍速ダビングはできません。
● CD倍速ダビングは、ディスクの汚れ等の影響をうけやすくなります。音飛び、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

2

CD DUBBINGボタンを2回押す

CD DUBBINGボタンは続けて3秒以内に押してください。

CD-MD×2 Dubbing　がスクロールします

CDはピークサーチ（最大レベルの検出）を高速で行い、MDへの最適な録音レベルを設定します。（DLA LINK）

ピークサーチ中は、表示部に「Srch」が点滅します。
その後、録音を開始します。

● CDの再生が終わるか、MDの最後まで録音すると録音が止まります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの►/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの►ボタンを押します。録音を始めたところから再生が始まります。

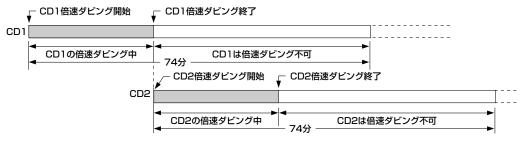
！ヒント

DLA LINKは最長で100秒かかることがあります。

CDダビング中のご注意

►/❚❚、▲などのボタンは働きません。

CD倍速ダビングの制限について

CD倍速ダビングを行ったCDはその記録時間に関係なく、著作権保護のため開始時より74分間はCD倍速ダビングをすることができません。CD倍速ダビングをしようとすると“Time Protect”と表示され、そのCDがCD倍速ダビングができるまでの待ち時間が表示されます。(例：“Wait 42 min”)他のCDを使用する場合は、続けて録音することができますが、74分以内に21枚以上のCDを続けて録音することもできません。

CDをMDに録音する（いろいろなCDダビング）

今聞いている曲のみを頭から録音する（トラック指定CDダビング）

❶CDをセットする

❷MDをセットする

❸CDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して再生を始める

❹CD鑑賞中に録音したい曲があったら、CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

高速でピークサーチを行い（ピークサーチ中は、表示部に「Srch（サーチ）」が点滅します。）、その後聞いていた曲の頭から録音が始まります。録音中は「ダビング表示」が点滅します。その曲のダビングが終わるとMDは停止します。CDはそのまま再生を続けます。

ご注意

- CD倍速ダビングはできません。
- CDがRANDOM（ランダム）再生モードになっているときは、CDダビングはできません。

好きな曲だけをダビングする

❶CDとMDをセットし、入力をCDにしたあといろいろな再生の設定をする

MEMORY（メモリー）再生（26ページ）、REPEAT（リピート）再生（28ページ）の設定をします。（設定と選曲のみで、再生はしません。再生すると、トラック指定CDダビングになります。）

❸CD DUBBING（ダビング）ボタンを押す

高速でピークサーチを行い（ピークサーチ中は、表示部に「Srch」が点滅します。）、その後録音が始まります。

ご注意

- MEMORY（メモリー）、REPEAT（リピート）表示が点灯しているときは、倍速ダビングができません。
- CDを1曲だけREPEAT（リピート）再生モードで録音すると曲番がつかない場合があります。

MDグループダビング　録音を開始する前に設定します　入力がMDで停止中

曲をひとまとまりのグループにして録音することができます。

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Group Dub?」を表示させる

Group Dub?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でグループダビングモードにしますか？の意味です。

3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

Gr.Dub On

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

MDグループ機能については、46ページをご覧ください。

フェードアウトダビング　録音を開始する前に設定します　入力がMDで停止中

CDダビング、トラック指定CDダビング、倍速ダビング時、最後まで録音されない曲を途中でフェードアウト（音量を徐々に小さくする）します。

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Fade Dub?」を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを押す

Off → On?

現在の設定が表示されます。この場合は「Off→On？」でフェードアウトモードにしますか？の意味です。

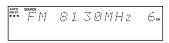
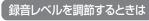
3

MULTI JOGダイヤルを押して確定する

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

FM/AM放送をMDに録音する

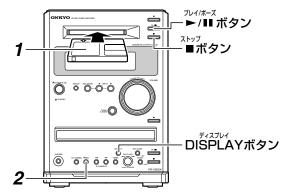
長時間のラジオ番組などを録音するときは、録音モード（☞43ページ）を切り換えて使うと便利です。

1	MDをセットする
2 	INPUT（インプット）◀/▶ボタンを（くり返し）押して、入力を「FM」または「AM」にする
3 	MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して録音したい放送局を選ぶ
4 	●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする **録音レベルを調節するときは** ☞44ページ **レベルシンクのオン、オフをするときは** ☞「曲番をつける－レベルシンク」（45ページ）
5 （MD 側） ►/❚❚	MDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンを押して、録音を始める 録音中の曲番　録音経過時間 録音している入力　FM　1Tr　0:28 録音モード MDの最後まで録音すると、自動的に停止します。 途中で止めるときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。 **録音結果を確かめるには** 録音終了後、本体MDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンのMDの▶（プレイ）ボタンを押します。 録音を始めたところから再生が始まります。 **一時停止するには** MDの▶/❚❚ボタンを押します。もう一度押すと一時停止したところから録音が始まります。曲番は次の曲番に移ります。 **曲番を好きなところにつけたいときは** 録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただしボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

オンキヨー製品から録音する（シンクロ録音）

● オンキヨー製の外部機器からの録音に便利です。
● 本機のCDからMDへ選曲しながら録音するにも便利です。

別売のオンキヨー製カセットテープデッキまたはCDレコーダーを本機に接続すると、以下のような操作ができます。

● CDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
● MDからカセットテープやCDレコーダーへのシンクロ録音
● カセットテープやCDレコーダーからMDへのシンクロ録音

CDやMDからカセットテープへのシンクロ録音については、カセットテープデッキ側の録音レベルを調節する必要があります。詳しくはカセットテープデッキの取扱説明書をご覧ください。
CDレコーダーへの録音方法は、CDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ここではカセットテープデッキから本機のMDにシンクロ録音する手順を説明します。

1

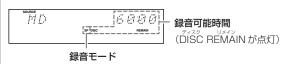
録音するソース（接続したカセットテープ）とMDをセットする

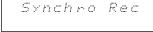
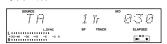
MDの録音可能な残り時間を確認するには

入力をMDにして、DISPLAY（ディスプレイ）ボタンを（くり返し）押してください。

2

●REC（レック）ボタンを押して、録音待機状態にする

3

（カセットテープデッキ側）

録音するソース(接続したカセットテープ)を再生する

録音が始まります。

シンクロ録音を中断するには

再生しているソース（接続しているカセットテープ）を停止すると、MDは録音待機状態になります。

録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❚❚（プレイ/ポーズ）ボタンまたはリモコンのMDの▶（プレイ）ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

一時停止して選曲する

再生しているソースを一時停止または停止すると、MDも録音待機状態となります。選曲して再度再生すると、MDの録音が始まります。
ただし、MDの■（ストップ）ボタンを押すとMDは停止しますが、カセットテープデッキは再生を続けます。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたところで●REC（レック）ボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（約4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

外部機器からMDに録音する

本機と接続した外部機器からMDに録音します。

デジタル録音について
本機はサンプリング・レート・コンバーターが搭載されていますので、CD（44.1kHz）以外の、デジタル外部機器（DATや衛星放送など）からのデジタル信号（32kHzや48kHz）も録音することができます。

1 MDをセットする

2 INPUT◀/▶ボタンを(くり返し)押して、録音する外部機器を選ぶ

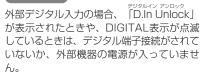
CD-R、TAPE、LINE、DIGITALのいずれかを選びます。

！ヒント

名称を変えると、その名称が表示されます。（☞70ページ）

3 ●RECボタンを押して、録音待機状態にする

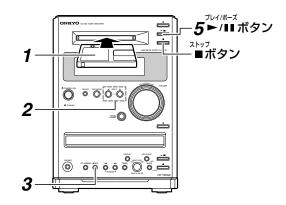
！ヒント

外部デジタル入力の場合、「D.In Unlock」が表示されたときや、DIGITAL表示が点滅しているときは、デジタル端子接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

4 外部機器の再生を始める

外部デジタル入力で録音レベルを調整すると、モニター音も変化します。

5（MD側） MDの▶/❚❚ボタンを押して、録音を始める

SOURCE LI 1Tr 0:28

MDの最後まで録音すると自動的に停止します。
途中で止めるときは、MDの■ボタンを押します。

シグナルシンクロ録音をする

シグナルシンクロ録音とは、外部の入力信号が入ってきた時点で自動的にMD録音を開始する機能です。

❶**左項の手順1～3を行う**
通常の録音待機状態になっています。

❷**●RECボタンを押す**

Signal Rec

「Signal Rec」が表示され、シグナルシンクロ録音待機状態となります。

❸**外部機器の再生を始める**
外部機器からの信号が入ってくると自動的に録音が始まります。
（☞左項の手順 5を行う必要はありません。）

録音レベルを調節するときは

☞44ページの同項目。

レベルシンクを切り換えるには

☞45ページの同項目。

曲番をすきなところにつけたいときは

録音中に曲番をつけたいところで●RECボタンを押します。ただし、ボタンを押す間隔が短い（4秒以下）と、曲番がつかないことがあります。

録音を一時停止するときは

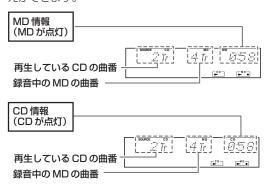
MDの▶/❚❚ボタンを押します。録音を再開するときは、同じボタンをもう一度押します。

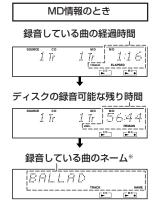
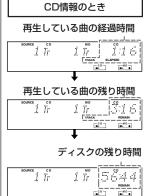
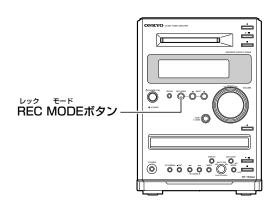
録音結果を確かめるには

録音終了後、本体MDの▶/❚❚ボタンまたはリモコンのMDの▶ボタンを押します。
録音を始めたところから再生が始まります。

録音の設定

録音中に表示を切り換える　*CDからMDに録音中、表示情報を切り換えることができます。*

- INPUT◀/▶ボタンを押すと、CDとMDの表示切り換えができます。

※ 名前がついていないときは表示されません。
☞「MD、プリセットチャンネルに名前をつける」（59ページ）

- CD/MD表示切り換え後、DISPLAYボタンを押すと、以下のように切り換わります。

録音モードを切り換える（MDLP）*録音を開始する前に設定します。*　MDが停止中

REC MODEボタンを押すたびに、以下の順で切り換わります

SP　：通常のステレオ録音モードです。ディスクに記載されている時間分のステレオ録音ができます。

LP2　：通常のステレオ録音を1/2に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

LP4　：通常のステレオ録音を1/4に圧縮して録音します。録音可能時間は「SP」の4倍になります。

Mono：モノラル録音モードです。録音可能時間は「SP」の2倍になります。

ご注意

LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

録音の設定

録音レベルを調整する

録音レベルが適当でないときに録音レベルを調整します。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に調整できます。
DLA LINK(リンク)が働くCDダビング時には調整できません。
録音するソースを再生した後、●REC(レック)ボタンを押して録音待機中に以下の操作をします。
アナログ、デジタルそれぞれの入力で調整することができます。

1

EDIT/CLEAR

NO

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

EDIT(エディット)/CLEAR(クリアー)/NO(ノー)ボタンを押し、MULTI(マルチ) JOG(ジョグ)ダイヤルを回して「Rec(レック) Level(レベル)?」(録音レベル)を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを押す

3

MULTI JOG

PUSH TO ENTER

MULTI JOGダイヤルを回して録音レベル(Rec(レック) Level(レベル))を調節する

OVERが点灯しないように調整する。

調節できる範囲は−∞dBから+18.0dBです。
−12.5d.Bから+18.0dBの範囲では0.5dB間隔で、−12.5dBから−30.0dBは2.5dB間隔、−30dBから−60dBは5.0dB間隔で調整できます。

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete(コンプリート)」が表示され、調整が完了します。

CDからMDへのデジタル入力録音/アナログ入力録音を選ぶ

入力がCDでMD/CDが停止中

MDへのシンクロ録音、シグナルシンクロ録音時に有効です。デジタル録音されたCD-RをMDに録音するときは、アナログ入力録音を選んでください。

1

EDIT/CLEAR

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、「Rec(レック) Signal(シグナル)?」を表示させる

Rec Signal?

! ヒント

CD表示のときに"DIGITAL(デジタル)"が点灯している場合は、現在の設定はデジタル入力録音となっています。点灯していない場合はアナログ入力録音です。

SOURCE CD DIGITAL ── デジタル点灯時は、デジタル入力録音

2

MODE

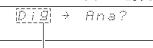
MODE(モード)/YES(イエス)ボタンを押す

現在の録音入力設定

3

EDIT/CLEAR

MODE

YES

**現在の設定を変更しない場合はEDIT/CLEAR/NOボタンを押す
変更する場合はMODE/YESボタンを押す**

「Dig(デジタル)→Ana(アナログ)?」と表示されたとき、MODE/YESボタンを押すとアナログ入力録音となり、「Ana→Dig?」と表示されたとき、MODE/YESボタンを押すとデジタル録音となります。

ご注意

- CD DUBBING(ダビング)ボタンを押すと、設定がデジタルに戻りますので、アナログ録音をするときは、CD DUBBINGボタンを操作しないでください。
- CDを取り出したときも、設定がデジタルに戻ります。

曲番をつける－レベルシンクを切り換える　入力がMDで停止中

- レベルシンクとは、入力レベルの立ち上がりで自動的に曲番をつける機能です。シンクロ録音、シグナルシンクロ録音時レベルシンクがオンになっていると録音中自動的に曲番がつきます。（ただし無音部が短かすぎるとつかないことがあります。）
- CDダビング、トラック指定CDダビングのときは、レベルシンクのオン/オフに関係なく自動で曲番がつきます。
- 好きなところに曲番をつけたいときは、レベルシンクをオフにし、録音中に曲番をつけたい所で●RECボタンを押します。（ボタンを押す間隔が短いと曲番がつかないことがあります。）
- レベルシンクがオンになっていると、入力信号の無音部が60秒以上続いた場合、自動的に録音待機状態になります。
- LEVEL-SYNC表示が点灯しているときは、レベルシンクがオンの状態です。（オフにするとLEVEL-SYNC表示は消えます。）

LEVEL-SYNC表示

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Level Sync?」を表示する

Level Sync?
LEVEL-SYNC

2

MULTI JOGダイヤルを押す

On → Off?

「On→Off?」、または「Off→On?」が表示されます。

3

MULTI JOGダイヤルを押す

LevelSyncOff

オフになったときは「LevelSyncOff」が、オンになったときは「LevelSyncOn」が表示されます。

この設定を途中で止めたいときは、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

X-A5GX(35-45)(SN29343602)　45　03.10.17, 10:21 AM

MDグループ機能（MDグループを作成/解除する）

1 GR、MEMORY、RAMDOMが点灯していると編集できません。通常再生モードにしてください。

1枚のMDに入っている曲を好みのグループに分けることができます。MDLPなどを使用して、たくさんの曲が入っているディスクで使用すると便利です。

- グループにできるのは連続した曲です。（例：1曲目〜15曲目）
- あとからグループに曲を追加することができます。
- 1つの曲を複数のグループに入れることはできません。
- 本機でグループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で再生するとディスクネームが正しく表示されません。
- グループを作成したMDをグループ機能が備わっていない機器で編集しないでください。

グループセット　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をまとめて新規のグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最初の曲を選ぶ

**G　1Tr　　424

2 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr Gr. Set?」を表示させる

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる最後の曲を選ぶ

1Tr－8Tr?

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、グループが作成されます。

グループイン　入力がMDで停止中

グループに入っていない曲をすでにあるグループに入れます。

1 MULTI JOGダイヤルを回して、グループに入れる曲を選ぶ

2 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr Gr. In?」を表示させる

14Tr　Gr.In?

3 MULTI JOGダイヤルを押す

4 MULTI JOGダイヤルを回して、どこのグループに入れるかを選ぶ

14Tr→1G?

5 MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループの最後に入ります。

曲番は新しくふり直されます。

グループアウト　入力がMDで停止中

すでにグループに入っている曲をグループから外します。

1

MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して、グループから外す曲を選ぶ

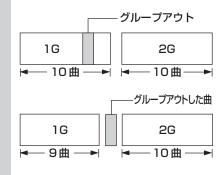
2

EDIT/CLEAR/NO（エディット クリア ノー）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○Tr Gr.Out?（トラック グループ アウト）」を表示させる

3Tr Gr.Out?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete（コンプリート）」が表示され、選んだ曲がグループから外れます。

全グループの解除　入力がMDで停止中

ディスクに入っているすべてのグループを解除します。

1

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Gr. Release?（グループ リリース）」を表示させる

2

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、すべてのグループが解除されます。

選択グループの解除　入力がMDで停止中

選んだグループのみ解除します。

1

GROUP（グループ）ボタンを押す

2

MULTI JOGダイヤルを回して、解除するグループを選ぶ

1G 5Tr 29:19

3

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「○○G Release?（グループ リリース）」を表示させる

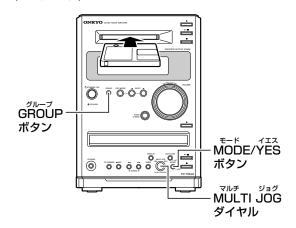
1G Release?

4

MULTI JOGダイヤルを押す

「Complete」が表示され、選んだグループのみ解除されます。

MDグループ機能（MDグループを再生する）

ディスクにグループを作成しておく必要があります。
（☞46ページ）

MDグループ再生

選択したグループから最後までを再生します。

1 GROUPボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、再生したいグループを選ぶ

3 MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

MD1グループ再生　入力がMDで停止中

選択したグループのみ再生します。

1 GROUPボタンを押す

2 MODE/YESボタンを(くり返し)押して、「1GR」モードを選ぶ

3 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

4 MULTI JOGダイヤルを押す

再生が始まります。

- 再生が終わると、MD1グループ再生モードは解除されます。

MDグループスキップ

再生中、グループごとにスキップをすることができます。

1 再生中にGROUPボタンを押す

2 MULTI JOGダイヤルを回して、グループを選ぶ

選んだグループの最初のトラックから再生が始まります。

MDグループ機能（MDグループを編集/消去する）

グループを移動してグループを入れ換える、2つのグループをまとめて1つにする、グループ内の曲を消去する、の3つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

グループを消去する－G.Erase
指定したグループに含まれる曲を全て消去します。

グループを移動する－G.Move
グループを移動する機能です。

グループをつなぐ－G.Combine
前のグループとつなぎ1つのグループにまとめる機能です。

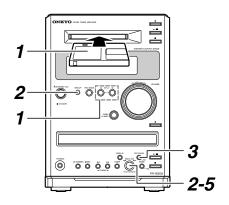
編集の組み合わせ

離れた2つのグループをつなぐ
（G.Move＋G.Combine）
G.Combineは選んだグループと直前のグループをつなぐ機能です。離れた2つのグループをつなぐときは、G.Move機能でグループを移動したあとに、G.Combine機能を使います。

編集/消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC）に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC表示が点灯しているとき」、「TOC表示が点滅しているとき」、72ページ）
- MEMORYまたは、RANDOM、1GR表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。

指定したグループ内の曲を消す－G.Erase　入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して消すグループを選ぶ

2G　2Tr　3:16

3 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?」を表示する

2G　Erase?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

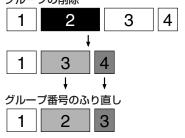
2G　Erase??

再確認のため「Erase??」（本当に消していいですか？）が表示されます。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

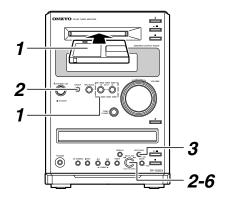
Complete
TOC

グループ内の曲が消され、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの削除

MDグループ機能（MDグループを編集/消去する）

グループを移動する－G.Move

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して移動するグループを選ぶ

GROUP
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

2G　2Tr　3:16

3 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?」を表示する

EDIT/CLEAR
NO
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

2G　Move?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

2G→1G ?

移動するグループ番号と移動先のグループ番号が表示されます。

5 必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先のグループ番号を変える

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

2G→4G ?

6 MULTI JOGダイヤルを押す

MULTI JOG
PUSH TO ENTER

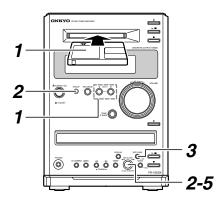
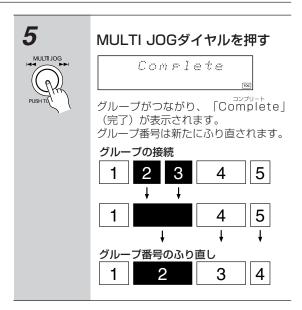
Complete

TOC

指定した曲が移動し、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループをつなぐ －G.Combine

入力がMDで停止中

- 前のグループにグループ名がついている場合、そのグループ名がCombine後のグループ名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 GROUPボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回してつなぐグループを選ぶ

3G　3Tr　3:16

選んだグループが、1つ前のグループとつながることになります。したがって、最初のグループは選ぶことはできません。

3 EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して、「Combine?」を表示する

3G Combine?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

2G+3G ?

選んだグループの番号と、その直前のグループ番号が表示されます。

5 MULTI JOGダイヤルを押す

グループがつながり、「Complete」（完了）が表示されます。
グループ番号は新たにふり直されます。

グループの接続

1	2	3	4	5

1	(2+3)	4	5

グループ番号のふり直し

1	2	3	4

MDを編集/消去する

曲を移動して曲番を入れ換える、1つの曲を2つに分ける、2つの曲をまとめて1つにする、曲を消去する、MDの録音すべてを消去する、の5つの基本機能があります。

編集/消去機能の紹介

全曲消去する－All Erase（オール イレーズ）
MDに記録されているすべての曲とタイトルを消去します。（BLANK DISC（ブランク ディスク）になります。）

曲を消去する－Erase（イレーズ）
1曲選んで消去する機能です。

曲を移動する－Move（ムーブ）
1曲選んで移動する機能です。

曲を分ける－Divide（ディバイド）
1曲を2つに分ける機能です。

曲をつなぐ－Combine（コンバイン）
1曲選び、その1つ前の曲とつないで1曲にまとめる機能です。

編集/消去機能の組み合わせ

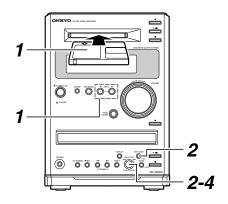
曲の一部を消去する
（Divide ＋ Erase）
消去したい部分をDivide機能で（またはこの機能をくり返して）分けてから、Erase機能で消去します。

離れた2つの曲をつなぐ
（Move ＋ Combine）
Combineは、選んだ曲と直前の曲をつなぐ機能です。離れた2つの曲をつなぐときは、Move機能で曲を移動したあとに、Combine機能を使います。

曲をつなぐ－Combine（コンバイン）についてのご注意

Combineは同じ録音モードで録音された曲のみ可能です。
例：MONO（モノ）モードで録音した曲とLP2モードで録音した曲をつなぐことはできません）
デジタル録音で録音した曲と、アナログ録音で録音した曲をつなぐことはできません。

編集／消去についてのご注意

- 編集/消去の情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるときなどにMDの目次部分（TOC（トック））に書き込まれます。TOC表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。(☞「TOC表示が点灯しているとき」、「TOC表示が点滅しているとき」、72ページ)
- MEMORY（メモリー）または、RANDOM（ランダム）、1GR（グループ）表示が点灯しているときは編集できません。通常の再生モードにしてください。
- グループを作成したMDを編集すると、グループ情報が変わることがあります。

全曲消去する－All Erase（オール イレーズ）

入力がMDで停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して「All Erase?（オール イレーズ?）」（MDの録音をすべて消しますか?）を表示する

EDIT/CLEAR
MULTI JOG
PUSH TO ENTER

```
All Erase?
```

3 MULTI JOGダイヤルを押す

```
All Erase??
```

再確認のため、「All Erase??（オール イレーズ??）」（本当に消去していいですか？）が表示されます。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

```
Complete
```

曲が消され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

1曲選んで消す－Erase（イレーズ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して消す曲を選ぶ

SOURCE MD 2Tr 3:00

3 EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）/ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Erase?（イレーズ?）」を表示する

2Tr Erase?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

Complete
TOC

曲が消され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

MDを編集/消去する

曲を移動する－Move（ムーブ）

入力がMDで停止中/一時停止中

途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1 MDをセットして、入力をMDにする

2 MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回して移動する曲を選ぶ

MD 2Tr 3:16

3 EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Move?（ムーブ?）」を表示する

2Tr Move?

4 MULTI JOGダイヤルを押す

移動する曲番と移動先の曲番が表示されます。

5 必要なときは、MULTI JOGダイヤルを回して移動先の曲番を変える

2Tr→4Tr?

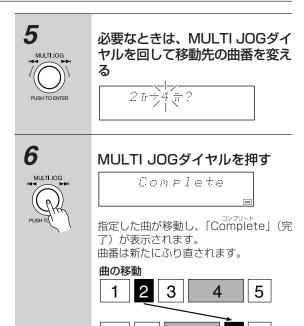
6 MULTI JOGダイヤルを押す

Complete

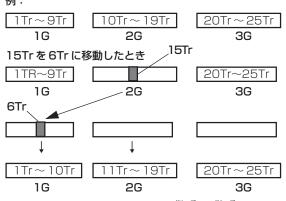
指定した曲が移動し、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

曲の移動

1	2	3	4	5

1	3	4	2	5

曲番のふり直し

1	2	3	4	5

グループのあるMDの曲を移動したときは
曲が所属するグループが変わる場合があります。
例：

15曲目は6曲目に移動するため、2G（グループ）から1G（グループ）に変わります。

曲を分ける－Divide（ディバイド）

入力がMDで再生中/一時停止中

- 曲名がついているとき（☞59ページ）は、前の曲にのみ名前が残ります。
- 途中で中止するときは、MDの■（ストップ）ボタンを押します。

1

MDをセットして、入力をMDにする

2

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回してから押し、分ける曲を再生する

リモコンの◀◀/▶▶ボタンで早戻し/早送りができます。

SOURCE MD　2Tr　3:00

3

▶/❚❚

分けたいところでMDの▶/❚❚（プレイ／ポーズ）ボタンを押す

一時停止になります。

4

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Divide?（ディバイド）」を表示する

2Tr Divide?

5

MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal（リハーサル）」（確認再生中）と「Position（ポジション） OK?（オーケー?）」（分けてもいいですか?）が交互に表示され、曲が分かれる位置より約4秒間がくり返し再生されます。

6

音声を聞きながらMULTI JOGダイヤルを回し、分ける位置の微調整をする

その曲内で数値−45〜+45（REC（レック） MODE（モード）がSP時 ± 約3秒）の間で調整できます。

分かれる位置が微調整で前後に移動します。

Position+11

7

MULTI JOGダイヤルを押す

Complete
TOC

曲が2つに分かれ、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。
曲番は新たにふり直されます。

曲の分割

1　2　3　4

↓

1　■　■　3　4

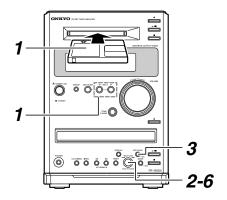
曲番のふり直し

1　2　3　4　5

曲をつなぐ －Combine

入力がMDで停止中/再生中/一時停止中

- 前の曲に曲名がついている場合、その曲名がCombine後の曲名になります。
- 途中で中止するときは、MDの■ボタンを押します。

1
MDをセットして、入力をMDにする

2
MULTI JOGダイヤルを回してつなぐ曲を選ぶ

SOURCE
MD 3Tr 3:16

選んだ曲が、1つ前の曲とつながることになります。したがって、1曲目は選ぶことはできません。

3
EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Combine?」を表示する

3TrCombine?

4
MULTI JOGダイヤルを押す

2Tr+3Tr?

選んだ曲の番号と、その直前の曲番が表示されます。

5
MULTI JOGダイヤルを押す

「Rehearsal」（確認再生中）と「Track OK?」（つないでいいですか?）が交互に表示され、曲のつなぎめの前後合計約8秒間がくり返し再生されます。

6
MULTI JOGダイヤルを押す

曲がつながり、「Complete」（完了）が表示されます。

曲番は新たにふり直されます。

グループのあるMDの曲をつないだときは
つないだ曲のグループに入ります。

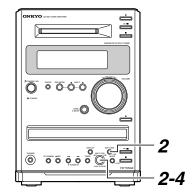
X-A5GX(46-61)(SN29343602) 56 03.10.17, 10:23 AM

FM/AMのプリセットチャンネルを編集する

削除とコピーの2つの基本機能を使って、不要なチャンネルの削除、あるチャンネルに登録された放送局の別チャンネルへのコピー、チャンネル番号の変更などができます。

プリセットチャンネル編集のヒント

チャンネル番号を変更する

コピーと削除機能を使います。
例えば、FMで4チャンネルにオートプリセットされた放送局を6チャンネル（空きチャンネル）に変えるときは、
❶ 4チャンネルを6チャンネルにコピーする。
❷ 4チャンネルを削除する。
という手順で行うことができます。

プリセットチャンネルを削除する

1

FMまたはAMの、削除するプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4CH

2

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI JOG（マルチ ジョグ）ダイヤルを回し「Preset Erase?（プリセット イレーズ?）」を表示する

PresetErase?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

再確認のメッセージが表示されます。

Erase OK? 4CH

削除をやめるときは、EDIT/CLEAR/**NO**ボタンを押します。

4

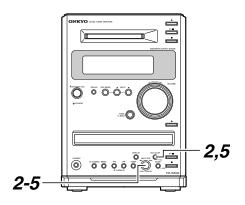
MULTI JOGダイヤルを押す

Complete

プリセットチャンネルが削除され、「Complete（コンプリート）」（完了）が表示されます。

FM/AMのプリセットチャンネルを編集する

プリセットチャンネルをコピーする

プリセットチャンネルをコピーすると、プリセットチャンネルにつけた名前（☞59ページ）も同時にコピーされます。

1

FMまたはAMの、コピーするプリセットチャンネルを呼び出す

例）4CH（チャンネル）、FM80.00MHzを選んだとき

FM 80.00MHz 4CH

2

EDIT（エディット）/CLEAR（クリア）/NO（ノー）ボタンを押し、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回し「Preset Copy?（プリセット コピー?）」を表示する

PresetCopy?

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回してコピー先のプリセットチャンネルを選ぶ

FM 80.00MHz 6CH

5

MULTI JOGダイヤル押す

「Complete（コンプリート）」（完了）と表示されたときは

Complete

放送局が指定のチャンネルにコピーされました。

「Overwrite?（オーバーライト?）」（書き換えますか?）と表示されたときは

Overwrite? 6CH

選んだチャンネルは登録済みです。

- すでに登録されている放送局を消して新しい放送局に書き換えるときは、MULTI JOGダイヤルを押します。
- 書き換えをやめるときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

MD、プリセットチャンネルに名前をつける

MDにはディスク名や曲名、FMやAMのプリセットチャンネルにはチャンネル名をアルファベットやカタカナでつけることができます。

MDにディスク名や曲名をつける

最大100文字までの名前がつけられます。

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ ディスクに名前をつけたいときはそのまま、曲に名前をつけたいときは、曲を選んでください。
❸「文字を入力する」右項を行います。

MDのグループに名前をつける

❶ MDをセットし、入力をMDにします。
❷ GROUP(グループ)ボタンを押し、MULTI JOG(マルチ ジョグ)ダイヤルを回して名前をつけるグループを選びます。
❸「文字を入力する」（右項）を行います。

ご注意

- 誤消去防止孔の開いたMDや、再生専用MDには名前はつけられません。（☞72ページ）
- ディスクに名前をつけるときは、曲を選択していないかご確認ください。曲を選択しているときは、MDの■(ストップ)ボタンを押してください。
- 曲に名前をつけたいときは、録音中、再生中にもつけることができます。次の曲に移ってしまうと、文字入力が正しくできない場合があります。
- 録音中、MDに曲名をつける場合は入力をMDに切り換えてから文字を入力してください。

- MEMORY(メモリー)、RANDOM(ランダム)、1GR(グループ)の表示が点灯している場合は、ディスク名はつけることができません。
- 名前などの情報は、MDを取り出すとき、スタンバイ状態になるとき、録音停止時などにMDの目次部分（TOC(トック)）に書き込まれます。TOC(トック)表示が点灯、点滅しているときは、電源コードを抜いたり、本体を揺らしたりしないでください。（☞「TOC(トック)表示が点灯しているとき」、「TOC(トック)表示が点滅しているとき」、72ページ）

プリセットチャンネルに名前をつける

FMまたはAMのプリセットチャンネルを選び、「文字を入力する」（右項）を行います。
8文字までの名前がつけられます。

本体操作ボタンで文字を入力する

1

EDIT(エディット)/CLEAR(クリア)/NO(ノー)ボタンを押し、MULTI JOG(マルチ ジョグ)ダイヤルを回して「Name In?(ネーム イン?)」を表示する

Name In?

2

MULTI JOGダイヤルを押す

文字入力モードに入ります。

3

DISPLAY(ディスプレイ)ボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

押すたびに、以下の選択ができます。

文字の種類の表示

A（大文字のアルファベット）※1
↓
a（小文字のアルファベット）※1
↓
1（数字）※1
↓
ア（カタカナ）※1
↓
♪（カンタンネーム）※2

※1 ☞「入力できる文字」（次ページ）
※2 プリセットチャンネルのネーム入力時には表示されません。
☞「カンタンネームについて」（次ページ）

4

MULTI JOGダイヤルを回して文字を選び、ダイヤルを押して確定する

この手順をくり返して名前を入力します。途中で文字の種類を変える場合は、手順*3*を行います。

➥次ページへ続く

MD、プリセットチャンネルに名前をつける

5 入力が終わったら、MODE/**YES**ボタンを押す

Complete

「Complete」が表示され、文字入力が完了します。
名前の入力を途中でやめるときはEDIT/CLEAR/**NO**ボタンを2秒以上押します。

入力できる文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
_ @ ` < > # ＄ % & * = ; : + − / ( ) ? ! ' " , . ␣（空白） M（挿入）
ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン
ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ ゛ ゜

カンタンネームについて（MDのみ）
以下のようなネームが用意されています。文字を選ぶのと同じ要領で下記の中から選んでください。

BALLAD	POPS	African	Anthology	Heavy
BLUES	REGGAE	American	Best of␣	Hit Songs
CLASSIC	ROCK	Asian	[ofの後ろには空白(␣)が１文字分入ります。]	Omnibus
DANCE	SOUL	British		Selection
FUSION	TECHNO	Euro	Collection	Special
JAZZ	VOCAL	German	Favorite	Super
LIVE		Japanese	Happy	␣（空白）

文字を訂正/消去する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ **本体またはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、訂正または消去する文字を点滅させる**

❷ ● **訂正するときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 *3*、*4* にしたがって正しい文字を入力する**
● **消去するときは、EDIT/CLEAR/NOボタンまたは、リモコンのCLEARボタンを押す**

ご注意

EDIT/**CLEAR**/NOボタンを2秒以上押し続けると消去せずに元の表示に戻ります。
続けて文字を挿入する場合は前ページ手順***3***、***4***を、終わるときは手順 ***5***を行います。

文字を挿入する

文字入力モードになっていないときは、「文字を入力する」（前ページ）の手順 ***1*** と ***2*** を行ってください。

❶ **本体またはリモコンの◀◀/▶▶ボタンを押して、文字を挿入したい場所の後ろの文字を点滅させる**

❷ **MULTI JOGダイヤルを左に回して「M」を表示し、ダイヤルを押す**

❸ **「文字を入力する」の手順 *3*、*4* にしたがって挿入する文字を入力する**

DREAM

続けて文字を挿入する場合は前ページ手順 ***3***、***4*** を、終るときは手順 ***5*** を行います。

プリセットチャンネルにつけた名前を消去する

❶ **入力をAMまたはFMにする**

❷ **MULTI JOGダイヤルを回して名前を消去したいプリセットチャンネルを選ぶ**

❸ **EDIT**/CLEAR/NO**ボタンを押し、MULTI JOGダイヤルを回して「Name Erase?」を表示させる**

❹ **MULTI JOGダイヤルを押す**
「Complete」と表示され名前が消去されます。

リモコンで文字を入力する

1

NAMEボタンを押す

2

DISPLAYボタンを押して、入力する文字の種類を選ぶ

ボタンを押すたびに文字の種類が切り換わります。SCROLLボタンを押すと逆順に切り換わります。

アルファベットを入力するには

数字ボタンを押すごとに記載されている文字が切り換わり表示されます。たとえば、カABC 2 ボタンは押すごとにA→B→C→Aと切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

数字を入力するには

数字ボタンを押すと数字が表示されます。

カタカナを入力するには

数字ボタンを押すごとにボタンの上に記載されている文字の行が切り換わります。

たとえば、ア 1 ボタンは押すごとに「ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ」と切り換わりますので、希望の文字を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

カンタンネームを入力するには（MDのみ）

数字ボタンを押すごとにボタンの上のアルファベットが頭文字になるカンタンネームが切り換わり表示されます。たとえば、サDEF 3 ボタンは押すごとにDANCE→Euro→Favorite→FUSIONなどと切り換わりますので、希望のカンタンネームを表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

記号を入力するには

記号 -/-- ボタンは、押すごとに記載されている記号が切り換わります。（記号 -/-- ボタンは、␣./＊-,!?&'() ワヲンー 10/0 ボタンはスペースが入力できます。）希望の数字または記号を表示させてリモコンのENTERボタンを押してください。

リモコンの⏮または⏭ボタンを押して文字を選び、リモコンのENTERボタンを押して文字を入力することもできます。

ご注意

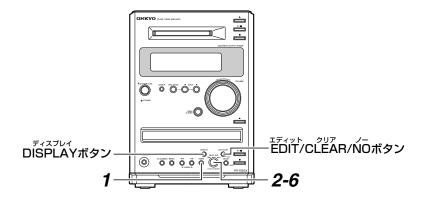
リモコンの数字ボタンではすべての記号を入力することはできません。
文字を挿入するときの「ꟼ」や、その他記号の入力は、リモコンの⏮または⏭ボタンを押して選んでください。

3

NAMEボタンを押して入力を終了する

曜日と現在時刻を設定する

お好みにより、12時間表示と24時間表示が選べます。（本書では24時間表示の設定方法で説明しています。）

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、「Clock」を表示する

Clock

2

MULTI JOGダイヤルを押す

SUN 0:00

曜日入力に入ります。

3

MULTI JOGダイヤルを回して、今日の曜日を選ぶ

SUN 0:00

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
日	月	火	水	木	金	土

4

MULTI JOGダイヤルを押して、曜日を確定する

THU 0:00

時間入力に入ります。

5

MULTI JOGダイヤルを回して、時刻を合わせる

12時間表示

THU 19:03

6

時報に合わせてMULTI JOGダイヤルを押す

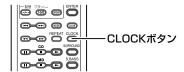
THU 19:03

時計が始動し、秒点が点滅を始めます。

時計合わせを中断するときは

EDIT/CLEAR/NOボタンを押す。

時刻、曜日を表示させる

リモコンのCLOCKボタンを押します。
再度CLOCKボタンを押すか、表示を切り換えると時刻表示は消えます。
スタンバイ時は、約8秒間表示した後、消灯します。

12時間表示/24時間表示を切り換えるには

時刻表示中にDISPLAYボタンを押します。

STANDBY時の時刻表示あり/なしを切り換えるには

電源が入っているときに、本体のSTANDBY/ONボタンを2秒以上押します。

ご注意

スタンバイ時の時刻表示を「あり」に設定した場合は、「なし」のときより待機電力が増えます。

タイマー機能を使う

Sleepタイマー、Onceタイマー、Everyタイマーがあります。

タイマー予約について

タイマー番号の選択

タイマーは4つまで設定することができます。

タイマーの種類

- タイマーPlay（再生）は設定した時間になると選択した機器が再生を始めます。
- タイマーRec（録音）は設定した時間になると選択した機器の録音を始めます。
- タイマーRecは本機のMD、または本機に接続したRI端子付きのオンキヨー製カセットテープデッキに録音します。入力表示を正しく設定してください。

演奏機器の設定

AM、FM、 CD、MDまたは本機に接続しているオンキヨー製カセットテープデッキなど、タイマー機能のある外部機器が選択できます。（表示名称を正しく設定する必要があります。）

タイマーRec（録音）はFM、AM、またはLINE、DIGITALに接続したタイマー機能のある外部機器から選択して録音できます。

曜日の設定

タイマーは1回だけ働く「Onceタイマー」と毎週設定した曜日、時間に働く「Everyタイマー」があります。

また、Everyタイマーには「Everyday（毎日)」、「毎週月曜から金曜」や「毎週の土曜と日曜」など、連続した曜日を自由に設定することができます。

例）

Timer 1　毎朝の目覚ましがわりに
タイマーPlay(再生)—Every—Everyday(毎日)—7:00〜7:30

Timer 2　毎週のラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Every—MON(月曜日)〜SAT(土曜日)—15:10〜15:30

Timer 3　今週の日曜だけラジオ放送を録音
タイマーRec(録音)—Once—SUN(日曜日)—10:00〜12:00

ご注意

- タイマー再生中または録音中は、現在時刻や終了時刻などの設定を変更することはできません。
- 現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。必ず時刻を合わせてください。
- 本機に接続した機器のタイマーを予約するときは接続を確実に行ってください。接続が不完全ですとタイマー再生やタイマー録音はできません。

タイマー表示について

タイマーが1つでも設定されていると、TIMER表示が点灯します。数字が点灯していたら、設定されている状態です。

同じ曜日にタイマー予約の時間が重なった場合

- 開始時刻が早いタイマーが優先されます。
- 開始時刻が同じ場合はタイマー番号が早い方が優先されます。

Timer 1　9：00 － 10：00
Timer 2　8：00 － 10：00
↑ 優先(タイマー開始時刻が早い方)
Timer 3　12：00 － 13：00
↑ 優先（タイマー番号が早い方）
Timer 4　12：00 － 12：30

Sleepタイマーについて

設定した時間がくると自動的にスタンバイ状態になります。

タイマー機能を使う

Sleepタイマーを使う

10分単位の時間設定が可能です。

SLEEPボタンを押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。
ボタンを押すごとに10分単位で時間が短くなります。

残り時間を確認するには

SLEEPボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間が表示されます。ただし、残り時間が10分以下の表示のときに再びSLEEPボタンを押すとSLEEPタイマーは解除されます。

Sleepタイマーを解除するには

「Sleep Off」の表示が出るまでSLEEPボタンを（くり返し）押します。

！ヒント

「CDダビング」中にスリープタイマーの設定時間になった場合、「CDダビング」が完了してからスタンバイ状態になります。
この機能を利用して、寝る前や外出前にCDダビングを始めることができます。

本体で操作する

10分単位と1分単位の時間設定が可能です。

1 TIMERボタンを1秒以上押す

「Sleep 90」が表示され、90分後に電源が切れる設定になります。

2 TIMERボタンを押す

押すごとに、10分ずつ時間が短くなります。

90→80→....→10→off

3 1分単位で時間を設定したいときは、MULTI JOGダイヤルを回す

右に回すと1分ずつ増え、99分まで設定できます。左に回すと1分ずつ減り、1分まで設定できます。

4 MULTI JOGダイヤルを押す

「SLEEP」が点灯

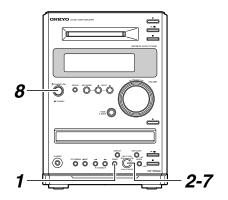
SLEEPタイマーが作動開始します。

タイマーを予約する

FM、AMのタイマー予約をするには、あらかじめ放送局をプリセットしておいてください。（☞29ページ）

ご注意

現在時刻が設定されていないと、タイマー予約はできません。
設定中60秒間何も操作しないと通常の表示に戻ります。

1

TIMER

＜タイマー番号の選択＞

TIMER（タイマー）ボタンを（くり返し）押して、設定するタイマーの番号を選ぶ

Timer（タイマー） 1からTimer 4のいずれかを選び、MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを押します。

「Clock（クロック）」しか表示されない場合は、曜日と時刻が設定されていませんので、曜日と時刻を設定してください。（☞62ページ）

2

＜タイマー種類の選択＞

TIMER Play

または

TIMER Rec

MULTI（マルチ） JOG（ジョグ）ダイヤルを回して、タイマーPlay（プレイ）（再生）またはタイマーRec（レック）（録音）を選ぶ

タイマーの種類が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。タイマーRecは本機MDまたは本機に接続しているテープデッキに録音されます。

3

＜演奏機器の選択＞

TIMER F M

MULTI JOGダイヤルを回して、演奏する機器を選ぶ

演奏する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

タイマーRec(録音)の時はFM、AM、LINE（ライン）、DIGITAL（デジタル）の中から選べます。

FMまたはAMを選んだ場合

SOURCE TIMER FM 85.10MHz 2 CH

MULTI JOGダイヤルを回して、プリセット番号を選ぶ

プリセット番号が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

➥次ページへ続く

4

＜録音機器の選択＞（タイマーRec設定時のみ）

FM → MD

MULTI JOGダイヤルを回して、録音する機器を選ぶ

録音する機器が表示されたらMULTI JOGダイヤルを押します。

5

＜曜日の設定＞

MULTI JOGダイヤルを回して、“Once”または“Every”を選ぶ

“Once”を選ぶと1度だけ、“Every”を選ぶと毎週タイマーが働きます。
選んだらMULTI JOGダイヤルを押します。

“Once”の場合：設定した曜日に１度だけ働きます。

SUN

MULTI JOGダイヤルを回して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
曜日の表示は下記の通りです。

MON	（月曜日）	FRI	（金曜日）
TUE	（火曜日）	SAT	（土曜日）
WED	（水曜日）	SUN	（日曜日）
THU	（木曜日）		

“Every”の場合：設定した曜日に毎週働きます。

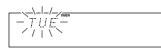
MULTI JOGダイヤルを回して、曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

MON（月） ⇔ TUE（火） ⇔ WED（水） ⇔ THU（木） ⇔ FRI（金）
⇕ MON — SUN　　FRI — SAT ⇕
SUN（日） ⇔ Days Set ⇔ Everyday ⇔ SAT（土）

［曜日の範囲をお好みで設定します。］

「Days Set」を選んだ場合：連続した曜日の範囲をお好みで設定します。

MON－SAT

① MULTI JOGダイヤルを回して、最初の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

② MULTI JOGダイヤルを回して、最後の曜日を選ぶ

曜日を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

この場合、毎週火曜から日曜の設定した時間にタイマーが働きます。
設定できるのは連続した曜日です。月曜日と水曜日など、連続していない曜日を設定することはできません。

6

＜開始時刻の設定＞

TIMER On 729

MULTI JOGダイヤルを回して、タイマー開始時刻を設定する

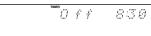
数字ボタンでも設定できます。
時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。
7：29を設定するには、0、7、2、9と押します。

- am/pm表示のときは、--/---ボタンでamとpmで切り換わります。

！ヒント

- 開始時刻（On）を設定すると終了時刻（Off）は自動的に1時間後の表示になります。
- 本機MDにタイマー録音するとき、開始後数秒間は録音されない場合がありますので録音開始時刻を1分程早めに設定してください。

7

＜開始時刻の設定＞

MULTI JOGダイヤルを回して、タイマー終了時刻を設定する

時刻を表示させたらMULTI JOGダイヤルを押します。

8

＜スタンバイにする＞

電源をスタンバイ状態にする

STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイ状態にします。

ご注意

- MDのタイマー再生で、MEMORY、RANDOM、1 GRモードなどを設定しても、タイマーオン時には通常再生になります。
- 電源がスタンバイ状態以外の時には、タイマーの予約時刻になってもタイマー動作しません。タイマー動作させる時には、必ず電源をスタンバイ状態にしておいてください。
- タイマー動作中にスリープタイマーの設定をしたり、TIMERボタンを押すと動作中のタイマーは解除されます。
- タイマーの音量はスタンバイ状態にする直前の音量と同じになります。あらかじめ音量を調整しておいてください。

タイマー予約をやり直したいときは…

EDIT/CLEAR/NOボタンを押し、最初から設定してください。

タイマー機能を使う

タイマーのOn（実行）/Off（取消）を切り換える

- 予約したタイマーの実行を取り消したいとき、タイマーを再び実行させたいときに使います。
- 現在時刻が設定されていないとタイマー予約はできません。

1

TIMERボタンを（くり返し）押して、設定するタイマー番号を表示させる

Timer 1

タイマー番号が点灯していたら、オン(実行）で設定されている状態です。

2

MULTI JOGダイヤルを回して、On(実行)/Off(取消)を切り換える

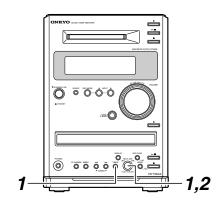
Timer On

または

Timer Off

切り換えると約2秒後にもとの表示に戻ります。

タイマー設定の内容を確認するには

1

TIMERボタンを(くり返し)押して、確認したいタイマーの番号を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押す

Timer 2

2

MULTI JOGダイヤルを（くり返し)押して、次の内容を確認する

Timer 1

押すたびに次の設定内容が確認できます。

！ヒント

確認中MULTI JOGダイヤルを回して設定内容を変更することもできます。
TIMER設定がOffになっている場合、設定内容を変更すると自動的にタイマー設定がOnになります。

すべての項目を確認し、設定に変更がないともとの表示に戻ります。
通常の表示にするにはEDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

UXW-3.1と組み合わせて使用するときは

●オンキョー製デジタルシアターシステム(UXW-3.1)でサラウンド音声を楽しむ
本機は2つのスピーカーを使用する2チャンネルステレオ機器ですが、別売りのUXW-3.1を接続すると5.1チャンネル再生で迫力のある音場がお楽しみ頂けます。また、オーディオ用ピンコードとRIケーブルを接続することで本機との連動が可能です。
UXW-3.1の取扱説明書と併わせてご覧ください。

●接続について
19ページの通りに接続をしてください。

●オートパワーオン
本機や本機に接続されているオンキヨー製機器の電源が入るとUXW-3.1の電源が自動的に入ります。
また、本機の電源を入、切しますと接続されている機器全体の電源が入ったり、切れたりします。

●ダイレクトチェンジ
UXW-3.1に接続されているオンキヨー製機器を再生すると、本機の入力が自動的に切り換わります。

●音量の調節について
電源が入ると本機のボリュームシンクロインジケーターが緑色に点灯します。音量調節つまみは動作しません。
本機に付属しているリモコンのVOLUME▲/▼ボタンまたはUXW-3.1の音量調節つまみで調節します。
- 本機の音量調節ツマミを回すと"Volume Sync"(ボリューム シンクロ)と表示して、音量調節できないことを知らせます。
- 本体のTONE(トーン)/S.BASS(スーパーバス)ボタン、リモコンのS.BASS(スーパーバス)ボタンは働きません。

●UXW-3.1でサラウンドを楽しむ
- UXW-3.1のINPUT(インプット)ボタンを押して "LINE"(ライン) 以外を選択すると、本機以外の選択した機器の音もサラウンドでお楽しみいただけます。
- 19ページの通りに接続されたオンキヨー製DVDプレーヤーを再生すると、自動的にUXW-3.1の入力が切り換わり、DVDの音が再生されます。また、DVDプレーヤーの音はアナログでMDや本機に接続したカセットテープデッキ、CDレコーダーに録音できます。このとき本機には以下のように表示されます。

UXW-3.1に接続された機器の音が鳴っていることを示します。

本機に付属しているリモコンのボタンが働く機器を示します。
(省略表示:この例ではDVDです。)
また、表示されている機器がMDやテープデッキ、CD-Rに録音されるソースです。

- 本機でCDダビング機能を使用しながら、UXW-3.1に接続された機器の音を楽しむことができます。
(シンクロ録音、シグナルシンクロ録音ではできません。)
- UXW-3.1の音を再生しているときは、本機のCDやMD、ラジオの操作はできません。
- UXW-3.1のみに接続されている機器は、本機MDや本機に接続されたカセットテープデッキ、CDレコーダーに録音することはできません。
録音するときは本機のCD-R端子、TAPE端子、LINE端子、DIGITAL IN端子に接続する必要があります。
- UXW-3.1のみに接続されている機器は本機のタイマー機能で操作できません。

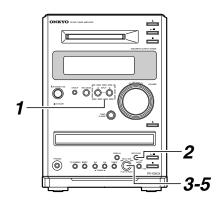
●サラウンドモードを変更する(UXW-3.1の取扱説明書もご覧ください)
- 本機に付属しているリモコンのSURROUND(サラウンド)ボタンでUXW-3.1のサラウンドモードが変更できます。
- UXW-3.1がステレオモードに切り換わったときは、本機に"Stereo"(ステレオ)、サラウンドモードのいずれかに切り換わったときは本機に"Surround"(サラウンド)と表示されます。

●UXW-3.1を使わずに本機のスピーカーだけで楽しむには(2チャンネル再生)
- UXW-3.1のSTANDBY(スタンバイ)/ON(オン)ボタンを押して、UXW-3.1をスタンバイ状態にします。
- 本機のボリュームシンクロインジケーターがオレンジ色に変わり、本機のボリュームつまみが動作するようになります。UXW-3.1にのみ接続されている機器は本機だけで再生することはできません。
本機で再生中にUXW-3.1の電源を入/切すると音量が変わって大きな音になることがあります。■(ストップ)ボタンや入力切り換えで再生を止めたり、一度MUTING(ミューティング)ボタンを押してからUXW-3.1の電源の入/切を行ってください。

●ヘッドホンで楽しむには(UXW-3.1の取扱説明書もご覧ください)
- 本機のPHONES(ホーンズ)端子にヘッドホンのミニプラグを接続します。本機のスピーカーの音が消えます。(UXW-3.1の音は聞こえます。)
- UXW-3.1のSURROUND(サラウンド)ボタンか本機のリモコンのSURROUND(サラウンド)ボタンを2秒以上(本機に"Headphone"(ヘッドホン)と表示されるまで)押しつづけてください。
UXW-3.1のスピーカーの音が聞こえなくなります。(Headphone(ヘッドホン) Mode(モード))。
- ヘッドホンから聞こえる音はステレオになります。
- スピーカーで聞くときは、もう一度UXW-3.1のSURROUND(サラウンド)ボタンか本機リモコンのSURROUND(サラウンド)ボタンを2秒以上(本機に"Stereo"(ステレオ)か"Surround"(サラウンド)と表示されるまで)押しつづけてください。UXW-3.1のスピーカーの音が聞こえるようになります。

外部入力機器の表示名称を変える

RI端子付きオンキヨー製品を接続した場合、ダイレクトチェンジなどのシステム動作を正しく行うために入力表示を切り換える必要があります。また、接続した外部機器に合わせて、入力の表示名称を変えることができます。

1

INPUT◀/▶ボタンを（くり返し）押して、名称を変える外部入力を選ぶ

CD-R、TAPE、LINE、DIGITALから選べます。

2

EDIT/NO/CLEARボタンを押して、「Name Select?」を表示する

```
Name  Select?
```

3

MULTI JOGダイヤルを押す

4

MULTI JOGダイヤルを回して名称を選ぶ

入力による名称選択

CD-R ⇔ DAT ⇔ VIDEO
⇕ ⇕
*2 PC-RI ⇔ *1 PC ⇔ HD ⇔ MD2

TAPE ⇔ DAT
⇕ ⇕
HD ⇔ VIDEO

LINE⇔DVD ⇔ VIDEO DISC ⇔ BS
⇕ ⇕
GAME ⇔ TV ⇔ CS-PCM ⇔ CS

DIGITAL⇔※1 PC/dig⇔※2 PC-RI/dig⇔CD-R/dig⇔DVD/dig
⇕ ⇕
GAME/dig V.DISC/dig
⇕ ⇕
CS-PCM/dig ⇔ CS/dig ⇔ BS/dig

```
DVD
```

変更をやめるときは、EDIT/CLEAR/NOボタンを押します。

※1 RI非対応、他社製品USBオーディオプロセッサーなどを接続したとき選択します。

※2 RI対応のオンキヨー製ＵＳＢオーディオプロセッサーを接続したとき選択します。

5

MULTI JOGダイヤルを押して決定する

```
Complete
```

「Complete」が表示されます。
MODE/YESボタンを押しても同じです。

省略名称表示

本機では入力の表示名称が省略される場合があります。そのような場合は、下の表で確認してください。

名称	省略名称
BS	BS
CD-R	CR
CS	CS
CS-PCM	CP
DAT	DT
DIGITAL	DG
DVD	DV
LINE	LI
PC	PC
PC-RI	PC
TAPE	TA
TV	TV
VIDEO	VI
VIDEO DISC	VD
HD（ハードディスク）	HD
GAME	GM

取り扱いについて

お手入れについて
製品の表面は時々柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた液に、柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと乾いた布で仕上げをしてください。固い布や、シンナー、アルコールなど揮発性のものは、ご使用にならないでください。
化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。
スピーカーのサランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか ブラシをかけるとよくほこりを取ることができます。

カラーテレビやパソコンとの近接使用について
一般にカラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。
D-02GXは（社）電子情報技術産業協会の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビなどとの近接使用が可能です。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分〜30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって画面への影響が改善されます。その後も色むらが残る場合はスピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものがあると本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。

D-02GXのツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。

取り扱い上のご注意
D-02GXは通常の音楽再生では問題ありませんが、次のような特殊な信号が加えられますと、過大電流による焼損断線事故のおそれがありますのでご注意ください。
① FMチューナーが正しく受信していないときのノイズ
② 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音
③ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音
④ マイク使用時のハウリング
⑤ テープレコーダーを早送りしたときの音
⑥ アンプが発振しているとき
⑦ ピンコードなど、接続端子の抜き差し時のショック音

結露について
本機を冷えた所から暖かい部屋に持ち込んだり、寒い部屋をストーブなどで急に暖めた場合、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは正常に働かないばかりではなく、ディスクや部品も痛めてしまいます。本機をご使用にならないときは、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。
結露しているおそれがある場合は、本機の電源を入れて約1時間放置してからご使用ください。

メモリー保持について
FR-155GXには、メモリー保持用の予備電源装置が内蔵されています。これは、お客様が設定した内容などを停電時などに保護するためのものです。FR-155GXの電源コードを抜いた状態で、メモリーを保持できるのは約3日間です。

CDについて

演奏上のご注意
CD（コンパクトディスク）はディスクレーベル面に右のマークの入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

パソコン用のCD-ROMなど音楽用でないディスクは使用しないでください。異音の発生などでスピーカーやアンプの故障の原因となります。
ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの再生について
複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽CDの中には正式なCD規格に合致していないものがあります。それらは特殊なディスクのため、本機で再生できない場合があります。

取り扱いについて
演奏面（印刷されていない面）に触れないように、両端をはさむように持つか、中央の穴と端をはさんで持ってください。

演奏面はもちろんプリント面に紙やシールを貼ったり、文字を書いたりしないでください。またきずなどをつけないようにしてください。

レンタルCDの注意について
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどののりがはみ出したり、剥がしたあとがあるもの、また飾り用のシールを貼ったものはお使いにならないでください。CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

お手入れについて
汚れにより信号読み取りが低減し、音質が低下する場合があります。汚れている場合は、演奏面についた指紋やホコリを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
汚れがひどい場合は、柔らかい布を水で浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと柔らかい布で水気を拭き取ってください。アナログレコード用スプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品は表面が侵されることがありますので絶対に使用しないでください。

保管上の注意について
直射日光のあたる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなるところや、極端に温度の低い場所はさけ、必ず専用ケースに入れて保管してください。

MDについて

MDについて
MDには再生専用と、録音用の2種類があります。
録音用MDで途中まで録音してあるMDに追加して録音する場合、最後の曲のあとに録音されます。曲番も最後の曲番のあとから順についていきます。
録音をしたり、名前をつけたり、編集した情報はMDの目次部分（TOC＝Table Of Contents）に書き込まれます。

TOC表示が点灯しているとき
（録音中や名前をつけたときなど）

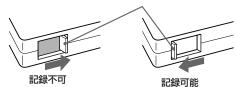
MDのTOCに書き込む情報が本体のメモリーに保存されている状態です。

TOC表示が点滅しているとき
（録音停止時やディスクを取り出すときなど）

MDに情報を書き込んでいる最中です。

この状態のときは、電源プラグを抜いたり、揺らしたりしないでください。停電になった場合は停電前の記録内容は消去されます。

> **シリアルコピーマネージメントシステム**
> デジタル入力で録音したMDをさらにデジタル入力録音することはできません。本機はシリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。この規格は、各種デジタルAV機器の間で、デジタル信号どうしのコピーを「1回だけ」と規制したもので、3つの原則があります。
> 原則1
> CDまたはDAT、MDからMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したものを他のMDへ「デジタル信号のままデジタル入力録音」できません。
> **原則2**
> アナログレコードやFM放送などをアナログ入力録音したMDから、他のMDへ「デジタル入力録音」できます。ただし、1度「デジタル入力録音」したMDから、他のMDへ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。MDレコーダーどうしをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。
> **原則3**
> DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDレコーダーの場合、衛星放送のデジタル音声信号も「デジタル入力録音」できます。
> この場合は、2回目も「デジタル入力録音」できます。ただし、BSチューナー（衛星放送受信機）によっては、2回目のデジタル入力録音ができない場合があります。

MDの誤消去防止について
録音用のMDには録音した内容を誤って消さないための誤消去防止つまみがあります。録音を禁止するときは、MDの誤消去防止つまみをずらして、図のように孔が開いた状態にします（記録不可状態）。

MDに録音するときや名前をつけるなどの編集を行うときは、録音用のMDを使用し、記録不可状態を解除しておいてください。

MDの取り扱いについて
MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えます。しかし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように、次のことにご注意ください。

内部のディスクに直接触れないでください
ディスクのシャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について
直射日光が当たる所など高温の場所や、湿度の高い場所には置かないでください。

長時間使用しないときは
MDが本機の中に入っているときは、ディスクのシャッターが開いた状態になっています。長時間使用しないときは、内部のディスクにほこりがつくのを防ぐため、MDを本機から取り出しておいてください。

定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやごみを乾いた布でふき取ってください。

お知らせ

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金管理協会
Tel. 03-5353-0336
Fax. 03-5353-0337

MDのシステム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- **最大録音可能時間（60分、74分、80分）に達していなくても、「Disc Full」が表示される。**
MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。256曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚のMDに分けて録音してください。
- **曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。**
曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。

- **MDへの録音のしかたによっては、短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。**

- **曲をつなぐことができない場合がある。**
編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。

- **MDの状態や録音のしかたによっては、録音可能な残り時間が録音した時間以上に減ることがある。**

- **編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。**

- **曲番が正確につかないことがある。**
CDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。また、レベルシンクオンで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。

- **「MD Reading」の表示がなかなか消えない。**
一度も使用していない録音用ディスクを入れると、通常より「MD Reading」表示が長く表示されます。

- **MDには最大1792文字のネームが入力できます。**
ただし、グループ機能を使用したり、カタカナを入力すると入力可能文字数はこれより少なくなります。

- **グループ機能の情報は、通常ネームを書きこむエリアに書きこみます。**
そのため、文字を多く入れると情報を書きこむエリアが少なくなり、グループ編集ができない場合があります。その際は、ネームの文字数を減らすとグループ編集ができることがあります。

MDLPについて
LP2、LP4の各モードで録音したディスクは、LP2、LP4モード搭載の機器以外では再生できません。

メッセージ一覧

ご使用の状況により、メッセージが表示されます。
意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
MD Blank Disc	曲もディスク名も記録されていない録音用MDが入っている。
Cannot Copy	MDの制限により、デジタル録音できない状態になっている(「シリアルコピーマネージメントシステムについて」、72ページ参照)。
Cannot Edit	編集できないMDで編集しようとした。
Cannot Rec	再生専用MDに録音しようとした。
Cannot Set	タイマー動作中にタイマー設定しようとした。
CD Dub Fail	CDダビングを起動できなかった。
Complete	編集が完了した。
Cannot Read	異常な(損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。
Disc Full	MDの録音可能部分がないため、録音できない(「MDのシステム上の制約について」、左項参照)。
D. In Unlock	デジタル入力に接続されていない。デジタル接続を確認してください。
Error	カナネーム入力時に入力できない組み合わせを行った。例：ア゛
Full	ネーム入力中に文字数が最大値に達した。
Impossible	MDシステム制約上以外の原因で編集の不可能な操作をした。
MD Writing	MDへの書き込み中
Mecha Error	MDメカに異常が発生した。故障の可能性がありますので、お近くのオンキヨー修理窓口にお問い合わせください。
Memory Full	25曲を越えてメモリーしようとした。または、チューナーで30局を越えてメモリーしようとした。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。
No Change	ネーム入力で変更がなかった。
CD/MD No Disc	ディスクが入っていない。（CD、MD）
Protected	MDが記録不可状態になっている。
Retry Error	録音中、振動やMDに傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し正常に記録できない。 ディスクを交換してください。
Recording	録音中にできない操作をした。
Signal Wait	MDがシグナルウエイト状態になった。
Time Protect	CD倍速ダビング終了後、同じCDを74分以内にCD倍速ダビングしようとした。
TOC Error	MDの読み取りや書き込みに失敗した。

困ったときは

まず下の表で点検してみてください。接続した他機に原因がある場合もあります。他機の取扱説明書も参照しながらあわせてご確認ください。
●文章の最後にある数字は参照ページ数です。

電源に関して

電源が入らない

- 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
- 一度電源プラグをコンセントから抜き、5秒以上待ってから再度コンセントに差し込んでください。

電源が途中できれる

- 表示部にSLEEP表示がある場合は、スリープタイマーが働きます。解除してください。（64）
- タイマー演奏、録音は終了時刻にスタンバイになります。（65）

音に関して

音声が出ない

- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？
- スピーカーが正しく接続されていますか？しん線は本体の接続端子に接触していますか？（13）
- ボリュームが最小になっていませんか?
- ミューティング機能が働いていませんか？
  “MUTING”と表示されている場合、ミューティング機能が働いていますので、解除してください。（21）
- ヘッドホンを接続しているとスピーカーからの音は出ません。ヘッドホンをはずしてください。（9）

音が良くない/雑音が入る

- スピーカーコードの+/−が正しく接続されているかご確認ください。左側に置くスピーカーが本体のL端子、右側のスピーカーはR端子に接続してください。（13）
- ピンコードのプラグは奥まで差し込んでください。
- テレビなど強い磁気を帯びたものの影響をうけることがあります。テレビと本機を離してください。

音質に関して

- 電源プラグの極性を変えると音が良くなることがあります。電源投入後10〜30分程度経過した方が音質は安定します。オーディオ用ピンコードはスピーカーコードと一緒に束ねると音質が低下しますのでご注意ください。

CD/MDに関して

再生が始まるまでに時間がかかる

- 曲数の多いCDの場合、読み込みに時間がかかることがあります。

音が飛ぶ

- 本機に振動が加わっている、またはディスクに大きな傷があったり汚れていると音とびすることがあります。

曲をメモリーすることができない

- ディスクが本機に入っていること、メモリーしようとしているのはディスクに入っている曲であることを確認してください。

ディスクが入っているのに再生しない

- ディスクの裏表が正しくセットされているか確認してください。
- ディスクがひどく汚れていたり損傷していないか確認してください。
- 何も録音されていないMDが入っていませんか、録音されているMDと取り換えてください。
- 結露していると思われる場合は約1時間後に操作してください。（71）

ディスクの再生順序通りに再生できない

- リピート再生、メモリー再生、ランダム再生等の再生モードを解除してください。（26〜28）

複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDの再生

再生時に雑音が入ったり、音飛びする/ディスクを認識せず「NO DISC」の表示が出る/1曲目を再生しない/頭出しに通常よりも時間がかかる/曲の途中から再生する/再生できない箇所がある/再生の途中で停止する/誤表示する

- 再生しているディスクは複製制限機能（コピーコントロール機能）のついた音楽用CDです。コピーコントロール機能のついた音楽用CDの中には、CD規格に合致していないものがあります。それらは、特殊ディスクのため、本機で再生できない場合があります。

ＦＭ/ＡＭ放送に関して

放送に雑音が入る/FMステレオ放送の時、サーという ノイズが多い
オートプリセットで放送局が呼び出せない（FMのみ）/FM放送で“ST”表示が完全に点灯しない

- アンテナの接続をもう一度確認してください。（14）
- アンテナの位置を変えてみてください。（32）

- テレビやコンピューターから離してください。
- 近くに自動車が走っていたり飛行機が飛んでいると雑音が入ることがあります。
- 電波がコンクリートの壁等で遮断されていると放送が受信しにくくなります。
- FMモードをモノラルに変更してみてください。（33）
- AM受信時リモコンを操作すると雑音が入る場合があります。
- それでも電波が悪い時は市販の室内アンテナをお薦めします。

停電になったり、電源プラグを抜いたときは

- メモリーは通常3日間は保持されます。万一プリセットチャンネルが消えてしまった場合はプリセットを再度行ってください。
- 現在時刻は解除されるので、現在時刻、タイマーを設定してください。

リモコンに関して

リモコンが働かない

- 電池の極性（＋、－）が、表示通り正しく入っているか確認してください。（8）
- 電池を2本とも新しいものと交換してみてください。（種類の異なる電池の使用や、新しい電池と古い電池の混用はさけてください）
- リモコンと本体の間が離れすぎていませんか？
- リモコンと本体の間に障害物がありませんか？
- 本体受光部に強い光（インバータ蛍光灯や直射日光）が当たっていませんか？
- オーディオラックのドアに色付きガラスを使っていると、正常に機能しないことがあります。

外部機器との接続に関して

録音ができない

- デジタル録音するには再生機器のデジタル出力を本機のDIGITAL IN端子に接続する必要があります。
- 接続が正しいか確認してください。（16、17）

オンキヨー製外部機器とのシステム接続が働かない

- RIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。（16～19）
  RIケーブルの接続だけではシステムとして働きません。
- 外部入力機器の表示名称を設定してください。（70）

「D.In Unlock」が表示された/DIGITAL表示が点滅している

- 光デジタルケーブルの接続がされていないか、外部機器の電源が入っていません。

接続した機器の音が出ない

- 光デジタルケーブルが折れ曲がったり損傷していませんか？
- フォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーは、別売のフォノイコライザーを中継してください。

レコードプレーヤーの音が小さい

- レコードプレーヤーがフォノイコライザー内蔵か、お確かめください。
- 内蔵していないレコードプレーヤーの場合は別途フォノイコライザーが必要です。

レコードプレーヤーが再生できない

- MCカートリッジタイプのレコードプレーヤーをお使いの場合は、昇圧トランスまたはヘッドアンプが必要です。

タイマー演奏・録音に関して

タイマー演奏･録音しない

- 現在時刻/日付は正しく設定されていますか？
  時刻が設定されていないと、タイマー演奏、録音はできません。曜日と現在時刻を設定してください。（62）
- 開始時刻に電源が入っているとタイマーが開始しません。タイマー開始時はスタンバイ状態にしてください。（67）
- タイマー予約の時間が重なっているとはたらかないタイマーがあります。時間をずらして設定してください。（63）
- タイマー演奏はスタンバイ状態にした時の音量が反映されます。スタンバイにする前に適当な音量に調節しておいてください。（67）
- オンキヨー製外部機器の場合はRIケーブルとオーディオ用ピンコードの両方が正しく接続されているか確認してください。
- タイマー録音するには録音可能なMDをセットしておく必要があります。（72）

スタンバイ状態で時計表示が出ない

- スタンバイ時の時刻表時を「あり」に設定してください。（62）

MDの録音/編集に関して

MDの録音、編集（名前をつける、消去する、等）の情報はMDを取り出す時やスタンバイ状態になるときに、MDの目次部分（TOC）に書きこまれます。TOC表示が点灯、点滅している時は電源プラグを抜いたり本体を揺らしたりしないでください。

X-A5GX(71-E)(SN29343602)　75　03.10.17, 10:25 AM

困ったときは

録音ができない

「Cannot Rec」と表示される（73）
● 再生用のMDです。録音用と交換してください。
「Protected」と表示される（73）
● MDが記録不可状態になっています、解除してください。（72）
「Disc Full」と表示される（73）
● MDに録音の空きがありません、新しいMDと交換してください。
「Retry Error」と表示された（73）
● いったんMDを取り出して、再度録音しなおしてください。

MD1グループダビングができない

● 複数の曲をひとまとまりにするため、トラック指定CDダビングと組み合わせることはできません。

デジタル機器から外部録音しようとしたら「D.In Unlock」と表示される

● オーディオ用デジタルケーブルを正しく接続してください。

録音レベルが小さい/音が歪む

● 録音レベルを調整してください。（44）

「CDダビング」ができない

「CD Dub Fail」と表示される。（73）
● MDのメカが動いています。しばらく待ってからもう一度CDダビングを行ってください
● CDがランダム再生モードになっているとCDダビングできません。通常再生に戻してください。
「CD倍速ダビング」ができない。
● CDがリピート、メモリー、ランダム再生モードになっているとCD倍速ダビングは働きません。通常の再生モードに戻してください。
　また、倍速ダビング開始後、同じCDを74分以内に倍速ダビングすることはできません。（37）
「ＣＤ倍速ダビング」で音とびがする
● CD倍速ダビングはディスクの汚れ等の影響を受けやすくなります。
　音とび、ノイズ等が発生する場合は、通常のCDダビングで録音してください。

「シンクロ録音」ができない

● 表示部に「MD Reading」が表示されている間はシンクロ録音を開始することができません。しばらく待ってから操作してください。

名前がつけられない

● MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。（72）
● メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると名前はつけられません。通常の再生モードに戻してください。（26〜28）

MDの編集ができない

● MDは録音用を使用し録音不可状態は解除してください。
● メモリー、ランダム、1GR再生モードになっていると編集できません。通常の再生モードに戻してください。（26〜28）
● デジタル録音した曲とアナログ録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（52）
● また、異なる録音モードで録音した曲はCombine（つなぐ）ことはできません。（ LP2とLP4など）（52）

録音後、停電になった

TOC表示が点灯、点滅中に停電になった場合は、停電前の記録内容は消去されます。また誤って電源コードを抜いた場合も消去されます。

UXW-3.1と組み合わせて使用時にこまった/連動しない

● 正しく接続はされていますか？オーディオ用ピンコード、RIケーブルを正しく接続してください。
　外部入力機器の表示名称を正しく変更してください。

音声に関して

● 本機のボリュームは効きません。本機に付属のリモコンまたはUXW-3.1のボリュームにて音量を調整します。
　ヘッドホン使用時、ＵＸＷ-３.１からの音は聞こえます。聞こえなくするには本機に付属しているリモコンのSURROUNDボタンを2秒以上押します。

製品の故障により正常に録音できなかったことによって生じた損害（CDレンタル料等）については保証対象になりませんので大事な録音するときにはあらかじめ正しく録音できる事を確認の上、録音を行なってください。

本機はマイクロコンピューターにより高度な機能を実現していますが、ごくまれに外部からの雑音やノイズ、また静電気の影響によって誤動作する場合があります。
そのような時は、電源プラグを抜いて約5秒以上待ってから改めて電源プラグを入れてください。

主な仕様

一般仕様

電源・電圧　：AC100V・50/60Hz
消費電力　：48W

最大外形寸法：155(幅)×220(高さ)×359(奥行き)mm
質量　：4.9kg
音声入力端子：アナログ端子 3（LINE、TAPE、CDR）
　プロセッサー端子 1
　光デジタル端子 1
音声出力端子：アナログ端子 2（TAPE、CDR）
　プロセッサー端子1
　光デジタル端子 1
　ヘッドホン端子 1
　サブウーファー端子1
　スピーカー端子 1

アンプ部

定格出力　：18W+18W（4Ω）
　17W+17W（5Ω）
実用最大出力：25W+25W（4Ω、EIAJ）
　23W+23W（5Ω、EIAJ）
全高調波歪率：0.4%（1kHz定格出力時）
ダンピングファクター：25（8Ω）
入力感度/インピーダンス：150mV/50kΩ（LINE、TAPE、CDR）
出力電圧/インピーダンス：130mV/2.2kΩ（TAPE、CDR）
周波数特性　：10Hz～100kHz/+3.5、−3.0dB
Bass　：80Hz ±6dB 11ステップ
Treble　：10kHz ±9dB 11ステップ
S.Bass 1　：40Hz +3dB
　2　：40Hz +6dB
スピーカー適応インピーダンス：4Ω～16Ω

CDプレーヤー部

形式　：光学式（コンパクトディスク方式）
読み取り方式：非接触光学式
周波数特性　：10kHz～20kHz（±2dB）
ワウ・フラッター：測定限界以下

MDレコーダー部

読み取り方式：非接触光学式読み取り
記録方式　：磁界変調オーバーライト方式
録音時間　：最大320分（LP4,80分ディスク使用時）
周波数特性　：10Hz～20kHz（±3dB）
ワウ・フラッター：測定限界以下

FM/AMチューナー部

受信範囲　：FM　76.00MHz～108.00MHz
　AM　522kHz～1629kHz
周波数特性　：30Hz～15kHz（±1.5dB）
感度（FM）　：18.8dBf(2.4μV、75Ω)
SN比(FM)(IHF-A)：70dB(MONO)、67dB(STEREO)
ステレオセパレーション(FM)：40dB(1kHz)

リモコン

方式　：赤外線
信号到達距離：約5m
使用電池　：単3形（1.5V）乾電池2個

スピーカー部（D-02GX）

形式　：2ウェイ　バスレフ型
定格インピーダンス：4Ω
最大入力　：70W
定格感度レベル：84dB/W/m
定格周波数範囲：50Hz～40kHz
クロスオーバー周波数：7kHz
キャビネット内容積：5.3ℓ
使用スピーカー：ウーファー　12cm A-OMFコーン
　ツィーター　2.5cmソフトドーム
最大外形寸法：138(幅)×220(高さ)×269(奥行き)mm（サランネット、突起部含む）
質量　：各3.1kg

※仕様および外観は性能向上のため予告なく変更することがあります。

修理について

■保証書
この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

■調子が悪いときは
意外な操作ミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

修理を依頼されるときは、下の事項をお買い上げの販売店、または付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載のお近くのオンキヨー修理窓口までお知らせください。

▶ お名前
▶ お電話番号
▶ ご住所
▶ 製品名　X-A5GX
▶ できるだけ詳しい故障状況

■オンキヨー修理窓口について
詳細は付属の「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■保証期間中の修理は
万一、故障や異常が生じたときは、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。詳細は保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は
お買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について
本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますのでお買い上げ店、またはお近くのオンキヨー修理窓口へご相談ください。

ご購入されたときにご記入ください。
修理を依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　　年　　月　　日
ご購入店名：
Tel.　　　(　　)
メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540

http://www.onkyo.com/jp/

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：カスタマーセンター
ナビダイヤル　　0570(01)8111（全国どこからでも市内通話料金で通話いただけます）
または　　072(831)8111（携帯電話、PHSから）

SN 29343602

Printed in Japan
G0310-1